

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成19年、全国学力・学習状況調査がスタートし、今年で8年目となりました。調査開始時、網走市の子どもたちの平均正答率と全国の平均正答率の差が、10ポイント以上下回る教科もありましたが、その差は年々縮まり、網走市の子どもたちの平均正答率が全国の平均正答率を上回る教科も見られるようになってきました。しかし、「漢字を書くこと」や「四則計算」など、依然として課題があります。

今後、さらに子どもたちに必要な力を見極め、『確かな学力』をつけることができるよう、網走市教育委員会をはじめ網走市内小中学校で取り組んでいく必要があります。

これらのことを踏まえ、網走市教育委員会としては、これまでの学力向上の取組を広く地域、保護者に理解してもらい、学力の課題について共有し、学校、地域、保護者が一丸となって学力向上に取り組むため、市内小・中学校全体の調査結果について、今後の方策とともに公表します。

I. 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施日 平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象学校と対象学年の児童生徒数【悉皆調査】

小学校 9校（網走小学校、中央小学校、西小学校、南小学校、潮見小学校、東小学校、白鳥台小学校、西が丘小学校、呼人小学校）

中学校 6校（第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、呼人中学校）

児童生徒数 小学校第6学年 302名 中学校第3学年 291名

4. 調査の内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題[国語A、算数A・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題[国語B、算数B・数学B]

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

2. 結果の概要

(1) 平成26年度 各教科の平均正答率・平均正答数

小学校	領 域	国語A	国語B	算数A	算数B
	問題数	15問	10問	17問	13問
平 均 正答率	網走	72.7	51.3	74.3	53.3
	道	71.8	52.9	75.8	55.2
	国	72.9	55.5	78.1	58.2
	全道との差	0.9	-1.6	-1.6	-1.9
	全国との差	-0.2	-4.2	-3.8	-4.9
平 均 正答数	網走	10.9問	5.1問	12.6問	6.9問
	道	10.8問	5.3問	12.9問	7.2問
	国	10.9問	5.5問	13.3問	7.6問
	全道との差	+0.1問	-0.2問	-0.3問	-0.3問
	全国との差	0問	-0.4問	-0.7問	-0.7問

中学校	領 域	国語A	国語B	数学A	数学B
	問題数	32問	9問	36問	16問
平 均 正答率	網走	78.4	45.6	61.3	55.0
	道	79.4	49.9	66.0	59.4
	国	79.4	51.0	67.4	59.8
	全道との差	-1.0	-4.3	-4.7	-4.4
	全国との差	-1.0	-5.4	-6.1	-4.8
平 均 正答数	網走	25.1問	4.1問	22.1問	8.3問
	道	25.4問	4.5問	23.8問	8.9問
	国	25.4問	4.6問	24.3問	9.0問
	全道との差	-0.3問	-0.4問	-1.7問	-0.6問
	全国との差	-0.3問	-0.5問	-2.2問	-0.7問

※平均正答率 ～ 各教科それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）

(2) 全国平均正答率との比較

【網走市内の小学校、中学校の平均正答率は、下の表の網掛けの範囲に分布しています。】

【 小 学 校 】		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
★～網走市 ◆～北海道 ○～全 国					
相当高い	7 P以上高い				
高 い	5 P以上7 P未満高い				
やや高い	3 P以上5 P未満高い				
ほぼ同様上位	1 P以上3 P未満高い				
同 様	1 P未満の差	○★	○	○	○
ほぼ同様下位	1 P以上3 P未満低い	◆	◆	◆	
やや低い	3 P以上5 P未満低い		★	★	◆★
低 い	5 P以上7 P未満低い				
相当低い	7 P以上低い				

【 中 学 校 】		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
★～網走市 ◆～北海道 ○～全 国					
相当高い	7 P以上高い				
高 い	5 P以上7 P未満高い				
やや高い	3 P以上5 P未満高い				
ほぼ同様上位	1 P以上3 P未満高い				
同 様	1 P未満の差	○◆	○	○	○◆
ほぼ同様下位	1 P以上3 P未満低い	★	◆	◆	
やや低い	3 P以上5 P未満低い		★	★	★
低 い	5 P以上7 P未満低い				
相当低い	7 P以上低い				

※全国平均正答率と比較し、その差を9段階で示したもの

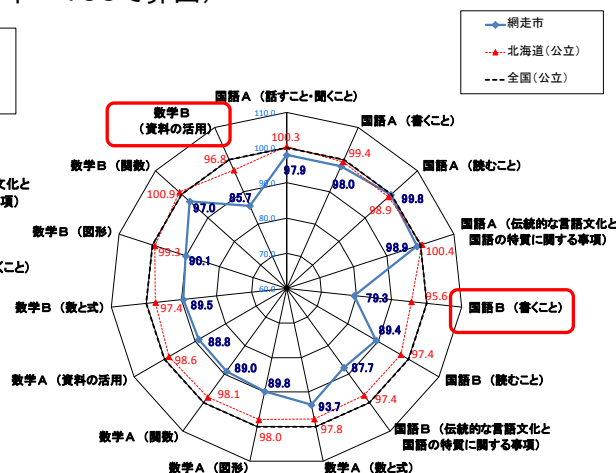
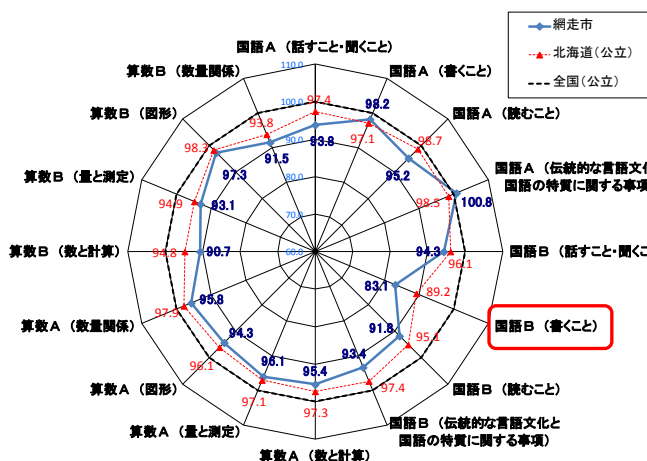
(3) 各教科領域別の状況（レーダーチャート）

◆小学校◆

◀ 各教科領域別の状況 ▶

◆中学校◆

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

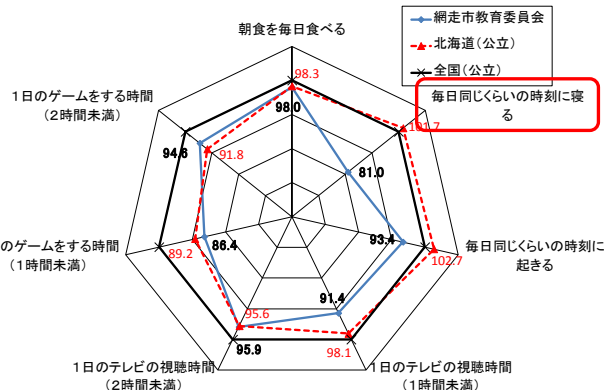
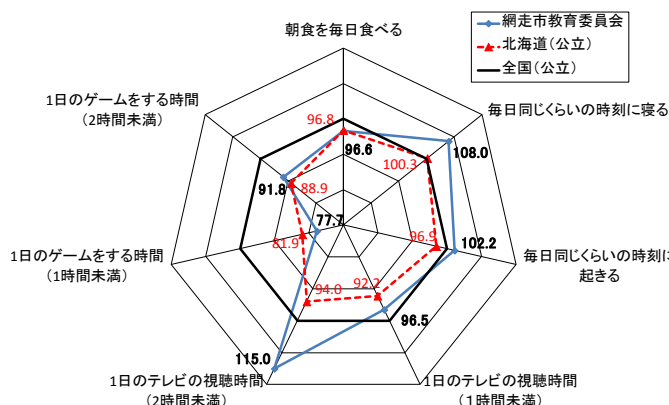


(4) 児童生徒質問紙調査の状況(レーダーチャート)

◆小学校◆

《生活習慣》

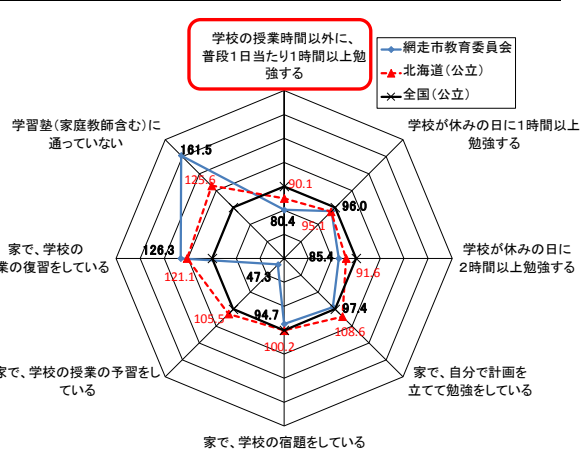
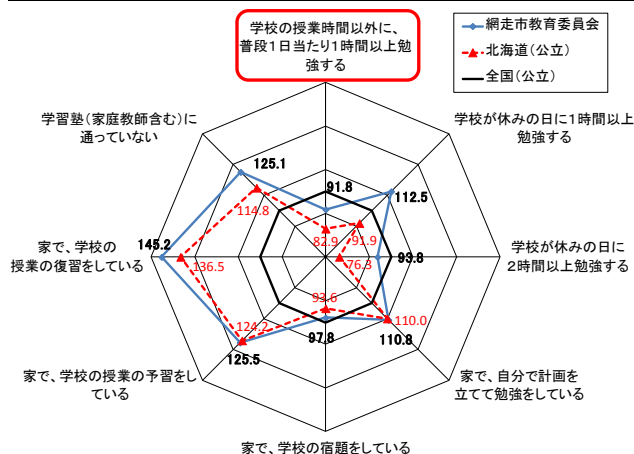
◆中学校◆



◆小学校◆

《学習習慣》

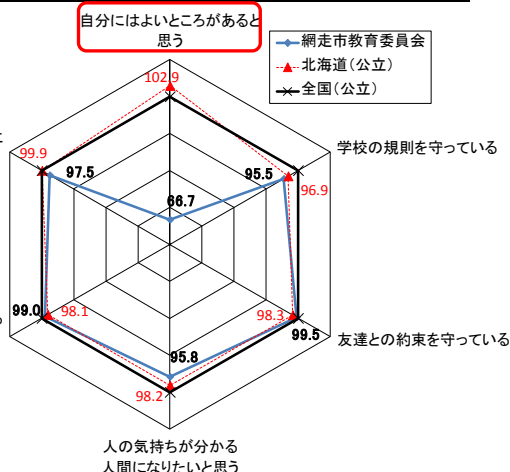
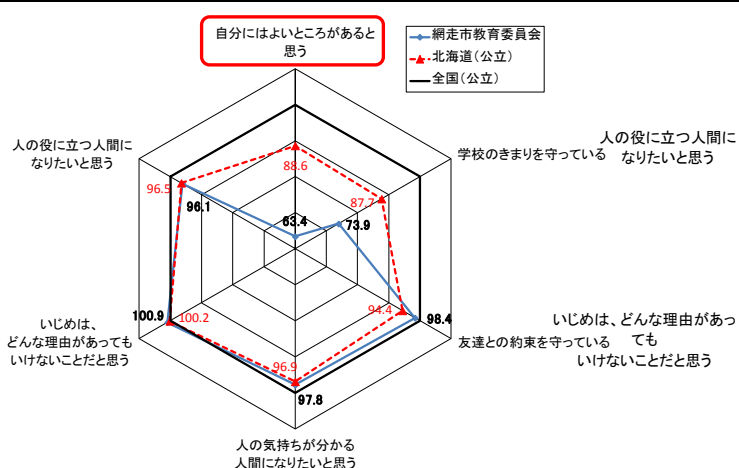
◆中学校◆



◆小学校◆

《自尊意識・規範意識》

◆中学校◆



【児童生徒質問紙調査に見られる特徴】

- ・「家で、学校の授業の復習をしている」児童生徒の割合は、全国に比べかなり高い。
- ・「朝食を毎日食べる」児童生徒の割合は全国とはほぼ同じであり、「朝ごはん」は定着しつつある。
- ・「学校の授業時間以外に、普段1時間以上勉強する」児童生徒の割合は、全国に比べ低い。
- ・「自分にはよいところがあると思う」という自尊感情は、全国に比べ低い。

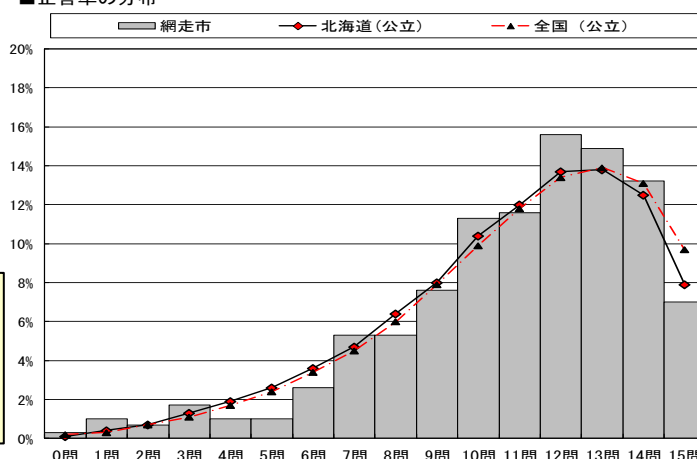
3. 教科に関する調査

○ 小学校国語 A

【国語 A】	平均 正答率	平均正答数 (15問中)
網走市	72.7	10.9問
北海道	71.8	10.8問
全 国	72.9	10.9問

国語 A の平均正答率は 72.7% で、前年度と比較し、全国との差は 0.2 ポイントに縮まった。北海道を 0.9 ポイント上回った。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との比較(平均正答率)		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	網走市		北海道(公立)	全国(公立)
1ー(2)	漢字を読む (街灯がつく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む					○		○		87.4	86.5	87.0	3.0	2.9	2.5	0.4
1二(2)	漢字を書く (勝利をいわず)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く						○	○		52.0	52.9	59.3	6.0	9.1	6.8	-7.3
1二(3)	漢字を書く (かぜをよぼうする)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く						○	○		82.1	75.0	77.4	5.0	8.3	7.2	4.7
2ー	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)	故事成語の意味と使い方を理解する						○	○		78.5	61.6	55.8	0.3	0.3	0.3	22.7
6ー	「～たり、…たり」という表現に直して書く	複数の事柄を並列の関係で書く			○		○		○		72.5	72.8	74.9	7.3	6.1	5.7	-2.4
6二	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	仮定の表現として、適切なもの捉える			○		○	○			85.8	81.4	83.1	2.6	1.9	2.0	2.7

【小学校国語 A のポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 1二(2) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く
- ▲ 6ー 複数の事柄を並列の関係で書くことができる。「～たり、～たり」という表現に直して書く

◎ 改善の方策 ◎

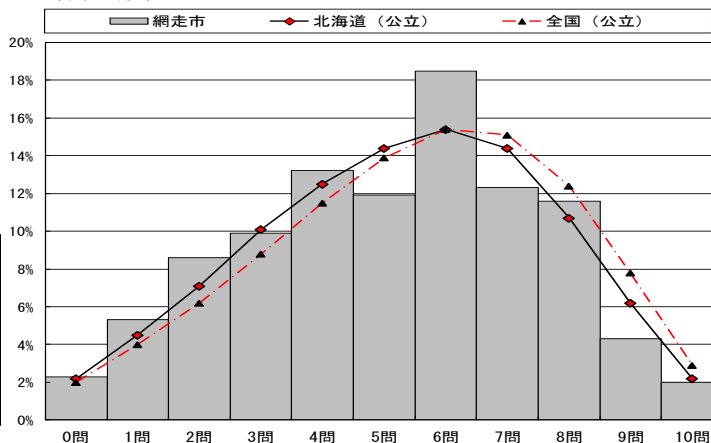
- ◆ 漢字を文脈に合わせて正しく読んだり書いたりするようにする
◎ 点画の数やとめ、はね、はらい等に注意する指導や、文脈に合わせて使うよう指導することが大切である。
- ◆ 実生活において漢字を適切に使うようにする
◎ 漢字を含む語彙の拡充を図るよう指導することが大切である。
- ◆ 文や文章を論理的に整えて書くようにする
◎ 語句と語句の係り方や照応の仕方に気付かせ、文と文とのつながりの明確さを意識することが重要である。そのためには、語句の意味を正しく理解すること、接続語の役割を理解することができるよう指導することが大切である。

○ 小学校国語B

【国語B】	平均 正答率	平均正答数 (10問中)
網走市	51.3	5.1問
北海道	52.9	5.3問
全国	55.5	5.5問

国語Bの平均正答率は51.3%で、前年度と比較し、全国との差は4.2ポイントに縮小している。また、北海道との差も1.6ポイントに縮小した。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との比較(平均正答率)		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	網走市		北海道(公立)	全国(公立)
1ー	司会④の発言の内容をまとめて書く	目的に応じて、話合いの観点を整理する		○					○		59.9	62.5	65.2	10.6	9.4	7.9	-5.3
1二	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える		○					○		60.9	58.1	60.2	3.3	3.9	3.5	0.7
2ー	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える				○			○		72.8	68.3	71.9	12.6	10.3	8.2	0.9
2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く	○		○	○			○		22.8	22.5	26.9	10.9	9.6	7.4	-4.1
3二	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	詩の解釈における着眼点の違いを捉える				○		○			44.0	47.6	48.5	25.2	20.8	19.8	-4.5
3三	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く	二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く	○		○	○			○		38.7	42.7	48.1	39.1	30.6	26.0	-9.4

【小学校国語Bのポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 1ー 目的に応じて話し合いの観点を整理する
- ▲ 2三 課題を解決するために目次や索引を活用して、本を効果的に読む
- ▲ 3三 二つの詩を比べて読み、「表現の特徴を捉えること」「詩の解釈における着眼点の違いを捉えること」「詩を読み比べて、考えたことを書く」

◎ 改善の方策 ◎

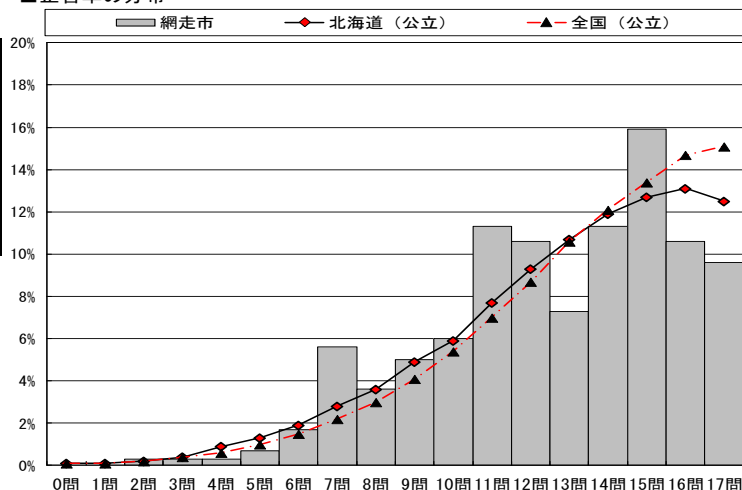
- ◆ 司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら話し合いの観点を整理する
◎ 司会は、話し手の発言を受け止め、適切な観点を明確にすることが重要である。また、全員が司会の役割を経験するなど具体的な指導も必要である。
- ◆ 調べ学習に関連する本や文章を効果的に読むようにする
◎ 解決の見通しを持って本や文章を探して読むことが大切である。また、学校図書館を活用し、本の選び方など段階に応じた指導が重要である。
- ◆ 詩の内容や表現の工夫を捉えるようにする
◎ 連の構成、表現技法、表記の仕方など具体的な指導が必要である。
- ◆ 複数の詩を比べて読み、自分の考えを書くようにする
◎ 自分なりの解釈を考えること、詩を読む観点を整理することが重要である。

○ 小学校算数 A

【算数 A】	平均 正答率	平均正答数 (17問中)
網走市	74.3	12.6問
北海道	75.8	12.9問
全 国	78.1	13.3問

算数 A の平均正答率は 74.3% で、前年度と比較し、全国との差は 3.8 ポイントに縮小している。また、北海道との差も 1.5 ポイントに縮小した。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			全国との比較 (平均正答率)
			算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	
1 (3)	9 - 0.8 を計算する	小数第 1 位までの減法の計算をすることができる		○				○		74.8	82.4	83.8	1.0	0.9	0.8	-9.0
1 (4)	2 ÷ 5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる		○				○		93.7	90.4	91.8	0.3	0.9	0.9	1.9
1 (5)	100 - 20 × 4 を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる		○				○		73.2	79.2	80.9	0.3	0.4	0.5	-7.7
2 (1)	示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ (80 cm) の 1.2 倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が 1 より大きい場合、比較量の求め方が (基準量) × (割合) になることを理解している			○	○				63.6	68.5	71.9	0.3	0.3	0.3	-8.3
3	示された分数の中から、1/2 より大きいものを選ぶ	分数の相等及び大小について理解している			○	○				63.6	70.0	72.5	1.3	0.7	0.6	-8.9
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	作図に用いられている図形の約束や性質を理解している			○	○				39.4	47.2	52.0	0.7	0.7	0.6	-12.6

【小学校算数 A のポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 1 (3) 9 - 0.8 を計算する
- ▲ 1 (5) 100 - 20 × 4 を計算する
- ▲ 2 (1) 割合が 1 より大きい場合、比較量の求め方が (基準量) × (割合) になることを理解している
- ▲ 3 分数の相等および大小について理解している
- ▲ 6 作図に用いられている図形の約束や性質を理解している

◎ 改善の方策 ◎

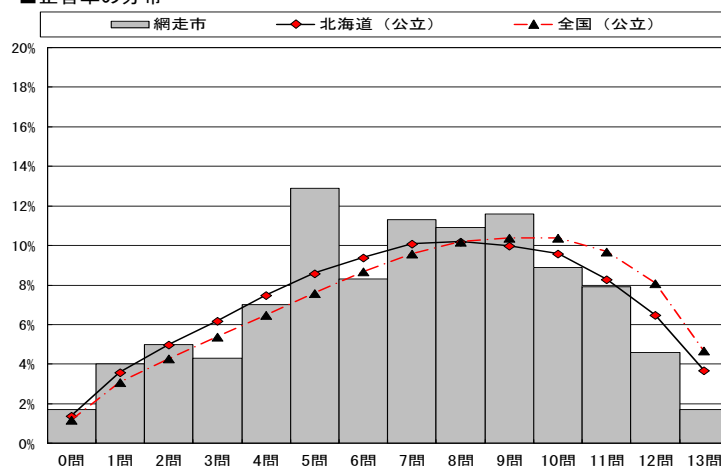
- ◆ 同じ位どうして計算することについて、確実に定着を図るようにする
- ◆ 計算の順序についての決まりに従って計算する意味を理解できるようにする
- ◆ 小数倍の意味について、整数倍の計算の意味や仕方をもとに理解を深めるようにする
- ◆ 分数の表現の特徴を捉え、図や数直線に表し、大きさを実感で理解できるようにする
- ◎ 分数を数直線で表し、大きさについての感覚を豊かにし、意味や大きさの理解について深め、通分、大小比較についても取り扱うようにする。
- ◆ 作図の操作と図形の性質を関連付けて作図の意味を理解できるようにする
- ◎ 作図は、図形の約束や性質に基づいていることを理解するようにする。コンパスを用い、等しい長さを写し取る使い方を理解することが大切である。

○ 小学校算数B

【算数B】	平均 正答率	平均正答数 (13問中)
網走市	53.3	6.9問
北海道	55.2	7.2問
全国	58.2	7.6問

算数Bの平均正答率は 53.3%で、前年度と比較し、全国との差は 4.9 ポイントに縮小している。北海道との差も 1.9 ポイントに縮小した。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			全国との比較 (平均正答率)
			算数への関心・意欲・態度	数量的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	
1 (1)	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数) × (1位数) の筆算をすることができる		○	○				91.7	93.8	94.6	0.3	0.3	0.3	-2.9
3 (2)	40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる			○	○			49.3	54.2	56.7	2.3	2.3	1.8	-7.4
3 (3)	示された分け方でスープを分けるとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる	○					○	24.2	26.5	30.6	2.6	2.3	1.9	-6.4
4 (2)	二人の④のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる	○					○	48.3	55.1	60.5	22.5	15.2	12.1	-12.2
5 (3)	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる	○					○	22.8	28.5	33.0	16.6	16.7	13.1	-10.2

【小学校算数Bのポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 3 (2) 10人分の量を基に、40人分の量を相対的に捉え、その関係を表わしている図を選択することができる。
- ▲ 4 (2) 二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる。
- ▲ 5 (3) 示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる

◎ 改善の方策 ◎

◆ 相対的な大きさについて具体的な場面に基づいて理解できるようにする

◎ 10人分を1、40人分は4と見て考えることや、10、100などを単位として、数の相対的な大きさを捉え、イメージすることも大切である。

◆ 算数の用語を用いて、日常の事象を的確に表現することができるようにする

◎ 日常の事象を算数の内容と関連付け、学習した用語を用いて的確に表現できるようにすることが大切である。

◆ 示された情報を整理し、解決の見通しを立てることができるようにする

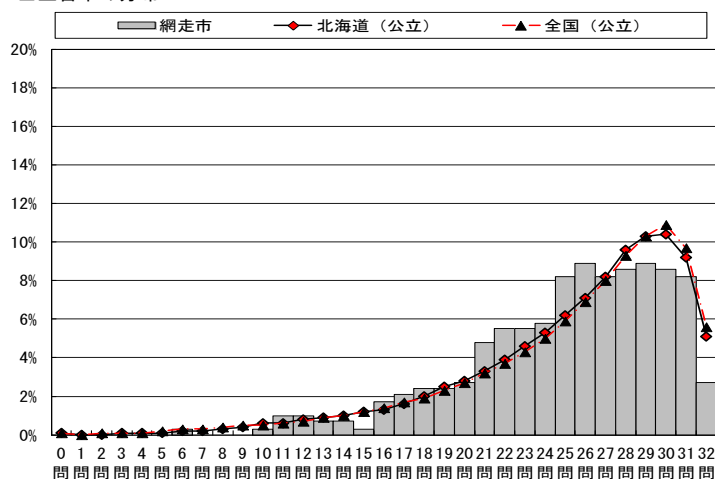
◎ 問題を解決する際には、示された情報を整理して解決の見通しを立て、それに基づいて筋道を立てて考えることが大切である。

○ 中学校国語 A

【国語 A】	平均 正答率	平均正答数 (32問中)
網走市	78.4	25.1問
北海道	79.4	25.4問
全国	79.4	25.4問

国語 A の平均正答率は 78.4% で、前年度と比較し、全国との差は 1.0 ポイントに縮小している。北海道との差も 1.0 ポイントに縮小した。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との比較(平均正答率)
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	
2-1	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える			○			○		91.8	91.3	90.9	0.0	0.1	0.2	0.9
4-1	ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する			○			○		93.8	92.6	92.6	0.0	0.2	0.4	1.2
8-1	漢字を書く(地域の人をショウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く					○		○	49.5	53.2	57.6	22.0	14.9	12.3	-8.1
8-2	漢字を書く(円のハンケイを求める)						○		○	58.1	57.4	59.5	4.8	3.2	3.3	-1.4
8-3	漢字を書く(計画を行動にウツす)						○		○	76.3	75.0	73.6	10.7	11.3	10.9	2.7
8-2	漢字を読む(このホールは童謡効果が良い)						○		○	96.2	92.4	88.6	1.4	2.8	4.1	7.6
8-2	漢字を読む(新記録に挑む)					○		○	96.6	95.8	95.2	1.0	0.9	1.3	1.4	
8三ア	適切な語句を選択する(よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う					○	○		51.5	57.2	59.2	1.4	0.7	1.0	-7.7
8三ウ	適切な語句を選択する(地域の伝統的な文化を継承する)						○	○		74.9	80.0	80.8	0.7	0.6	0.8	-5.9
8四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く(英気を養う)	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く					○		○	53.3	59.1	59.9	16.5	12.5	12.3	-6.6
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(まうけて)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む					○		○	83.8	85.9	80.3	6.9	5.5	7.0	3.5

【中学校国語 A のポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 2-1 地域の人をショウタイ[招待]する。(漢字を書く)
- ▲ 2-3 「急がば回れ」「継承する」～適切な語句を選択する
- ▲ 2-4 「英気を養う」～辞書を活用して、語句の意味を適切に書く

◎ 改善の方策 ◎

◆ 日常的に漢字を書く学習を行うようにする

◎ 漢字の字形や画数、読みや意味など基本的な事項を確実に指導することが重要である。また、部首との関連、熟語、文中での使い方なども確認することが大切である。

◆ 場面に即した多様な語句、語彙指導の工夫

◎ 語句の辞書的な意味を基に、話や文脈のから意味を捉えることが有効である。また、ことわざや慣用句などを使い、意味や用法を考えることも有効である。

◆ 辞書を活用する

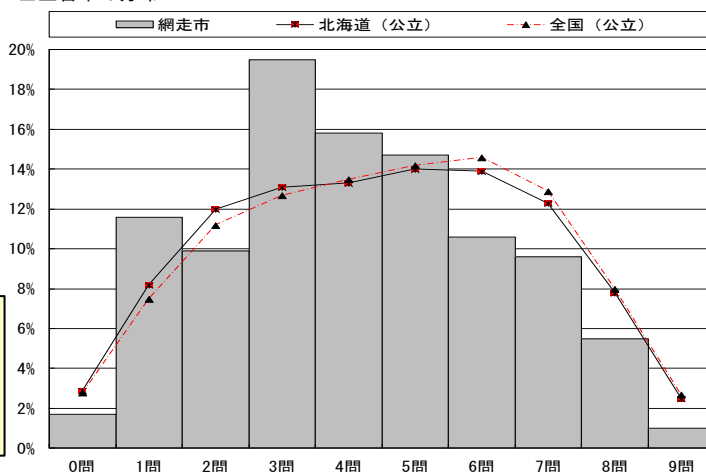
◎ 辞書を活用する際には、いくつか書かれている意味から文脈に沿って語句の意味を選び、それが文中の意味として適切かどうかを確認することが重要である。

○ 中学校国語B

【国語B】	平均 正答率	平均正答数 (9問中)
網走市	45.6	4.1問
北海道	49.9	4.5問
全国	51.0	4.6問

国語Bの平均正答率は45.6%で、前年度と比較し、全国との差は5.4ポイントに、北海道との差は、4.3ポイントに広がっている。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			全国との比較 (平均正答率)
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	
1ー	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する					○	○			58.2	65.9	65.3	0.0	0.2	0.3	-7.1
1二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ				○		○			59.6	57.2	58.9	0.3	0.3	0.4	0.7
1三	ノートを基に、標語から伝わってくる「メッセージ」と「表現の工夫とその効果」を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く	○		○	○			○		41.1	45.9	48.2	2.7	4.4	3.4	-7.1
2ー	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える				○		○			23.3	30.3	31.4	0.0	0.4	0.6	-8.1
2三	水の中に浸すと、切手をきれいに洗うことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く	○		○	○			○		21.6	27.5	28.4	22.3	18.5	16.0	-6.8
3三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く	○		○	○			○		34.9	44.2	46.5	13.0	9.8	8.6	-11.6

【中学校国語Bのポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 1ー 表現の技法について理解する
- ▲ 1三 文章の構成や表現の仕方などについて根拠を明確にして自分の考えを書く
- ▲ 2ー 複数の資料を比較して読み、要旨を捉える
- ▲ 2三 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確にわかるように書く
- ▲ 3三 落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く

◎ 改善の方策 ◎

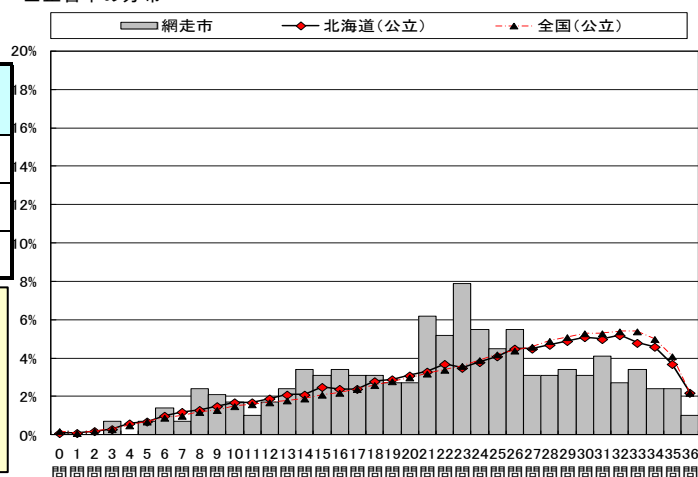
- ◆ 具体的な表現と結びつけながら、表現の技法を理解するようにする
◎ 比喻や反復など具体的な表現と結びつけることが大切である。
- ◆ 観点を決めて、書いた文章について意見を述べ合うようにする
◎ 書いた文章を交流する際には、観点を明確にすること、叙述を具体的に取り上げる、根拠をもとにして述べ合うことが大切である。
- ◆ 目的に応じて文章の要旨を的確に捉えるようにする
- ◆ 内容が正確に伝わるように説明するようにする
◎ 複数の情報を正確に理解し、相手や目的に応じて取捨選択したり関係づけたりして説明する内容を適切に表現することが求められる。
- ◆ 登場人物の心情を豊かに想像するようにする
- ◆ 根拠を明確にして自分の考えを書くようにする
◎ 登場人物の心情や作者の思いなどを想像するためには、自分が感じたことや考えたことの根拠を明らかにすることが重要である。

○ 中学校数学 A

【数学 A】	平均 正答率	平均正答数 (36問中)
網走市	61.3	22.1問
北海道	66.0	23.8問
全国	67.4	24.3問

数学 A の平均正答率は 61.3% で、前年度と比較し、全国との差は 6.1 ポイントに縮小している。北海道との差も 4.7 ポイントに縮小した。

■ 正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			全国との比較 (平均正答率)
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	
1 (1)	$3/4 \div 5/6$ を計算する	分数の除法の計算ができる		○			○		77.7	82.3	85.8	5.2	3.5	2.8	-8.1	
2 (1)	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる		○			○		36.1	41.0	45.2	12.0	11.4	11.1	-9.1	
3 (2)	一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる		○			○		50.9	58.4	59.5	16.5	13.0	12.4	-8.6	
3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y=3x-2 \\ y=2x+3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる		○			○		56.7	66.3	67.2	12.4	10.4	10.0	-10.5	
4 (1)	楕円形な図形を完成する	対称軸が与えられたときに、楕円形な図形を完成することができる		○			○		93.8	94.1	93.8	3.8	2.4	2.5	0.0	
5 (4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している			○	○			23.7	34.9	38.7	0.3	0.6	0.7	-15.0	
6 (3)	n 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n 角形の内角の和を求める式 $180 \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解している			○	○			35.7	45.5	47.8	0.3	0.8	1.0	-12.1	
8	証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する	証明のための構想や方針の必要性和意味を理解している			○		○		68.0	74.8	75.8	11.3	8.0	7.2	-7.8	
9	与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「 y は x の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			○		○		27.5	34.3	35.8	19.6	18.9	17.9	-8.3	
10 (1)	$x=2, y=6$ の比例の式を求める	比例の関係を式に表すことができる		○			○		39.2	53.9	56.7	21.0	14.1	13.0	-17.5	
13 (1)	生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から相対度数を求めることができる		○			○		29.6	42.0	42.7	25.4	18.0	16.7	-13.1	
14 (2)	樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める	樹形図などを利用して、確率を求めることができる		○			○		52.2	59.4	65.1	18.9	12.6	10.6	-12.9	

【中学校数学 A のポイント】

■ 課題 ■

- ▲ 5 (4) 底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している
- ▲ 10 (1) 比例の関係を式に表すことができる
- ▲ 13 (1) 度数分布表から相対度数を求めることができる
- ▲ 14 (2) 樹形図などを利用して、確率を求めることができる

◎ 改善の方策 ◎

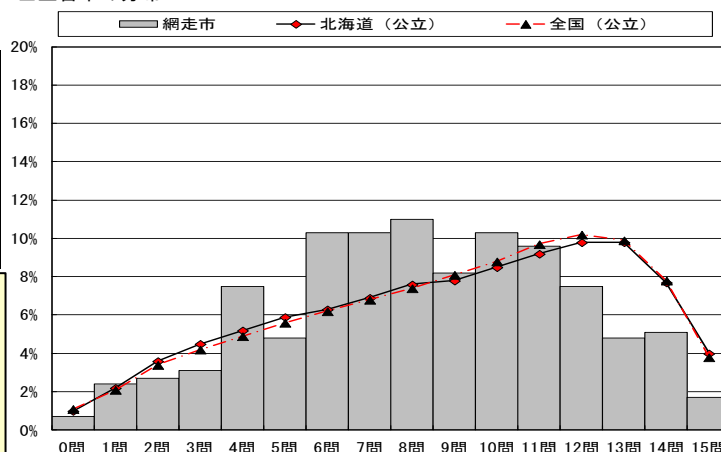
- ◆ 柱体と錐体の体積の関係を、実感を伴って理解できるようにする
◎ 柱体と錐体の体積の関係を予想し、模型を用いて実際に測定する活動を通し、実感を伴って理解することが大切である。
- ◆ 比例の意味を理解し、比例の関係を式で表すことができるようにする
◎ 比例の関係を式で表すには、変数と比例定数の意味の理解を深め、比例定数を求めることができるようにすることが大切である。
- ◆ 相対度数の必要性和意味を理解できるようにする
- ◆ 樹系図や二次元の表などを利用して起こり得る全ての場合を数え上げ、確率を求めることができるようにする

○ 中学校数学B

【数学B】	平均 正答率	平均正答数 (13問中)
網走市	55.0	8.3問
北海道	59.4	8.9問
全国	59.8	9.0問

数学Bの平均正答率は55.0%で、前年度と比較し、全国との差は4.8ポイントに縮小している。北海道との差も4.4ポイントに縮小した。

■正答率の分布



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との比較 (平均正答率)
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	
1(2)	外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ	日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる	○				○			93.8	92.9	92.8	0.3	0.3	0.4	1.0
1(3)	図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する	事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる		○					○	54.5	57.5	60.6	19.5	14.5	12.7	-6.1
3(2)	大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する	事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる		○					○	65.1	63.5	62.3	31.2	30.4	30.1	2.8
4(1)	2つの線分の長さが等しいことを証明する	図形の性質を、構想を立てて証明することができる		○					○	24.7	39.8	39.4	32.2	24.2	22.5	-14.7
4(2)	$\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める	付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる		○					○	15.1	22.6	23.3	32.9	26.2	25.8	-8.2
5(2)	1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる		○					○	20.9	30.5	32.1	14.0	9.3	7.3	-11.2
6(3)	兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる		○					○	20.9	30.3	29.9	23.6	19.4	17.5	-9.0

【中学校数学Bのポイント】

■課題■

- ▲4(1) 図形の性質を、構想を立てて証明することができる
- ▲4(2) 付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる
- ▲5(2) 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる
- ▲6(3) グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明する

◎ 改善の方策 ◎

- ◆証明の構想において方針を立て、証明を書くことができるようにする
- ◆証明の過程や結論を基に、発展的に考えることができるようにする
- ◎発展的に考えることができるようにするために、与えられた性質を証明するだけでなく、発展的に条件を変えたり証明を読んだりすることを通して、新たな性質を見出すことができるように指導することが大切である。
- ◆不確定な事象について、起こり得る場合を分類整理できるようにする
- ◎確立を用いて不確定な事象が捉えられるようにするために、起こり得る場合を分類整理できるように指導することが大切である。
- ◆問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする
- ◎様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるように指導することが大切である。

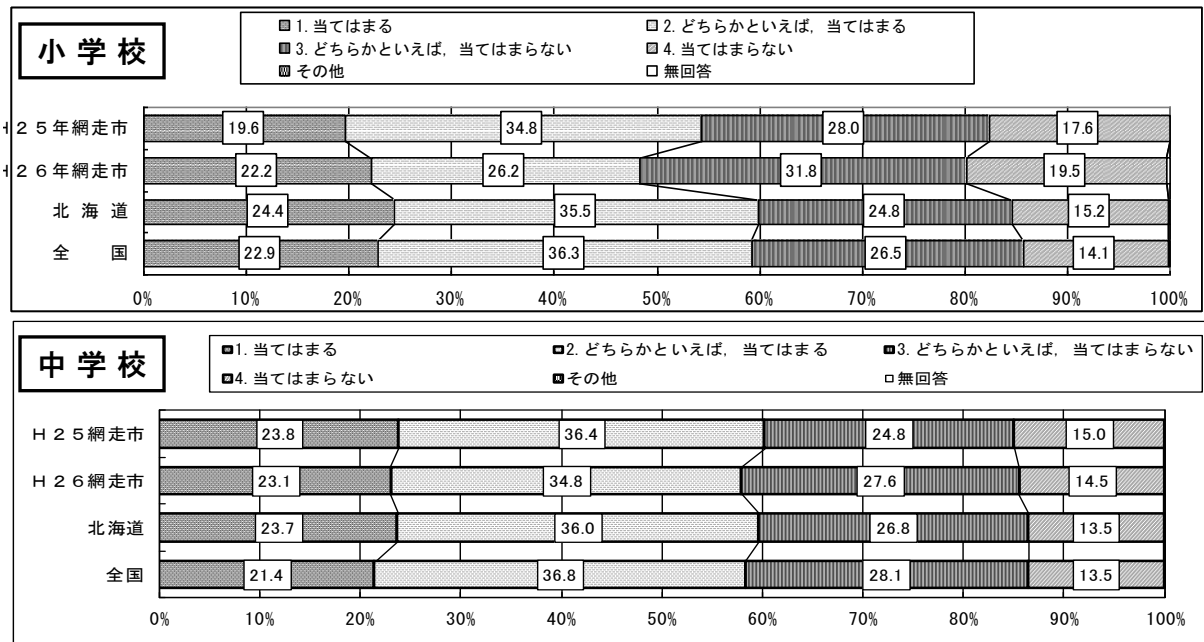
4. 質問紙調査 【よい傾向は青数字、改善を要する傾向は赤数字】

(1) ≪学習（国語）に対する関心・意欲・態度≫

○「国語の勉強は好きですか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**10.8ポイント低く**、中学校で**0.9ポイント低い**。

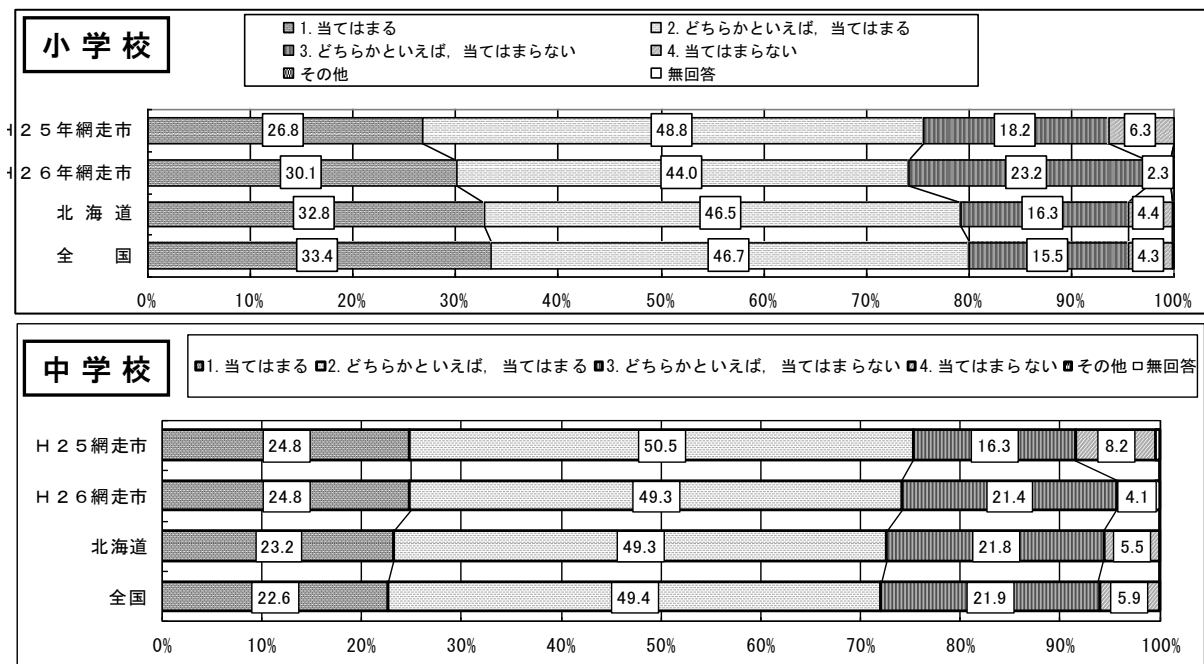
≪昨年度と比較し、小学校で**6.0ポイント低く**、中学校で**2.3ポイント低い**。≫



○「国語の授業の内容はよくわかりますか」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**6.0ポイント低く**、中学校で**2.1ポイント高い**。

≪昨年度と比較し、小学校で**1.5ポイント低く**、中学校で**1.2ポイント低い**。≫

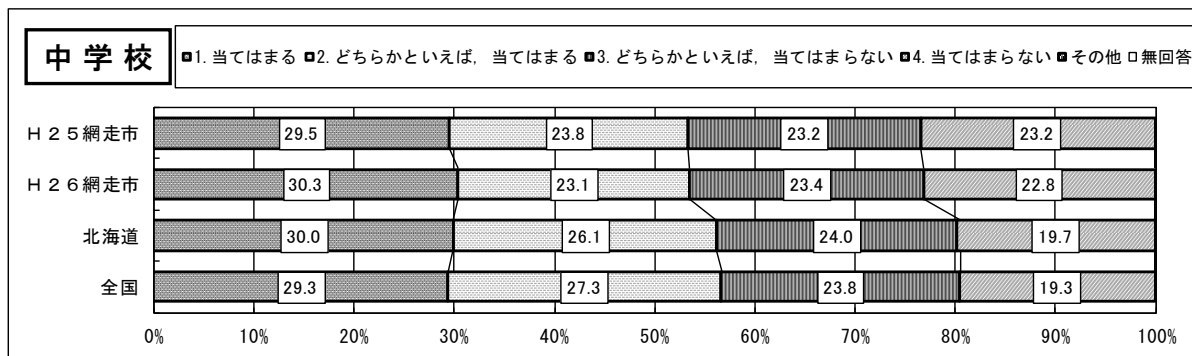
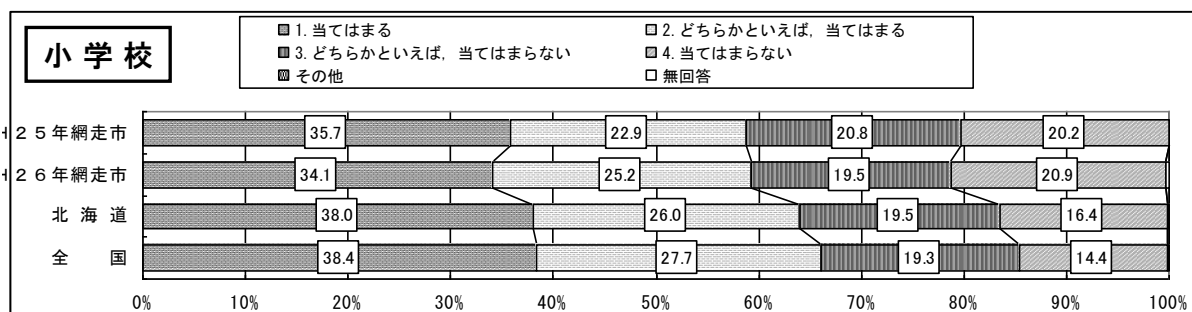


《学習（算数・数学）に対する関心・意欲・態度》

○「算数・数学の勉強は好きですか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**6.8ポイント低く**、中学校で**3.2ポイント低い**。

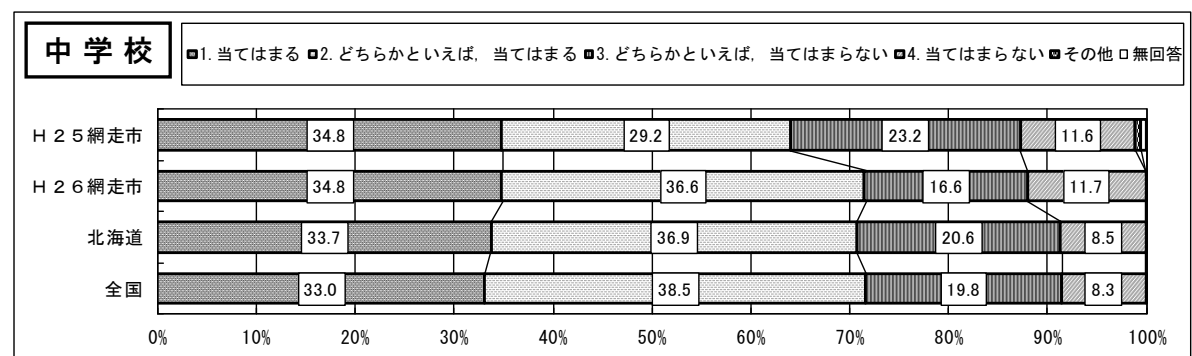
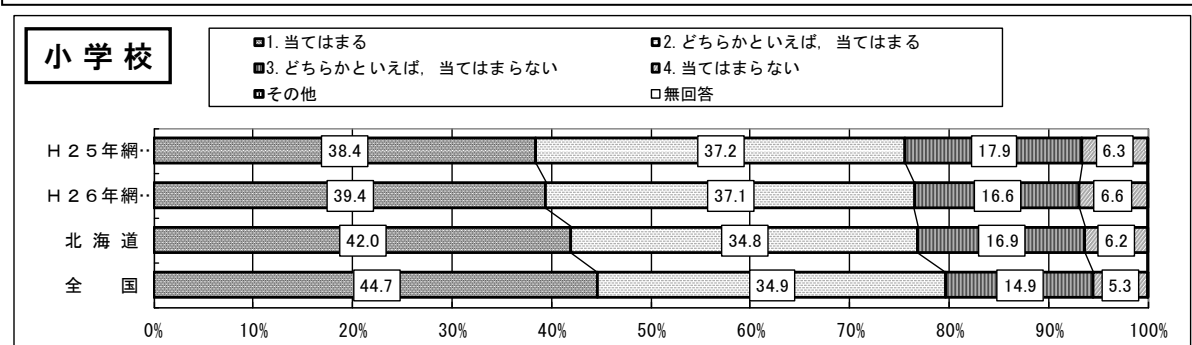
《昨年度と比較し、小学校で**0.7ポイント高く**、中学校で**0.1ポイント高い**。》



○「算数・数学の授業の内容はよくわかりますか」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**3.1ポイント低く**、中学校で**0.1ポイント低い**。

《昨年度と比較し、小学校で**0.9ポイント高く**、中学校で**7.4ポイント高い**。》

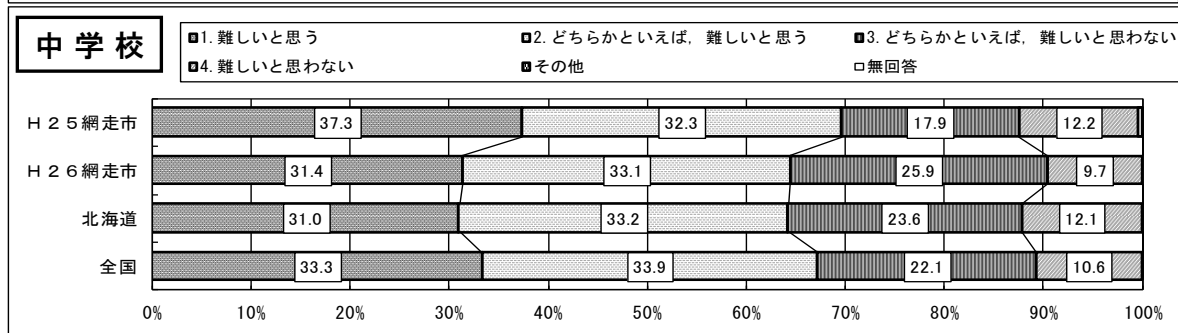
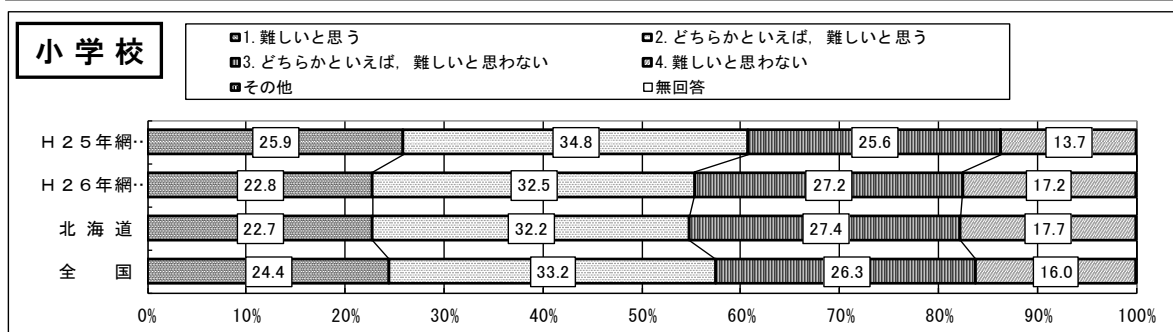


（２）《学校の指導・取り組み》

○「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか。」

「1、難しいと思う」、「2、どちらかといえば難しいと思う」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で2.3ポイント少なく、中学校で2.7ポイント少ない。

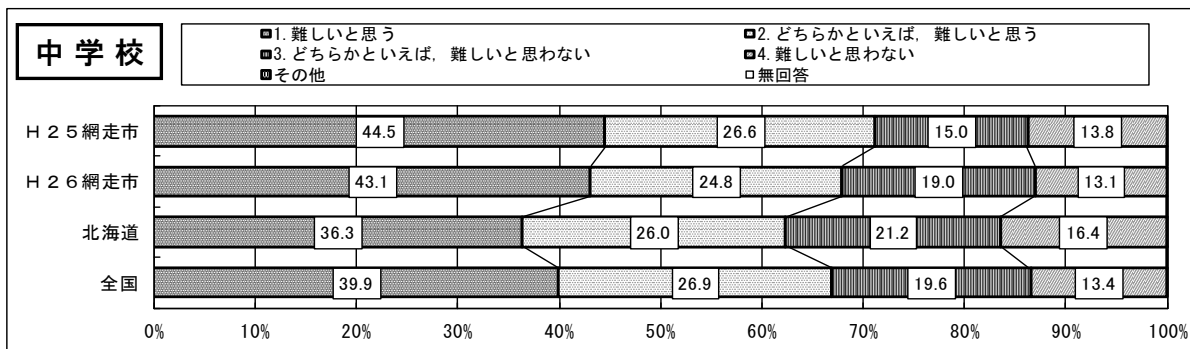
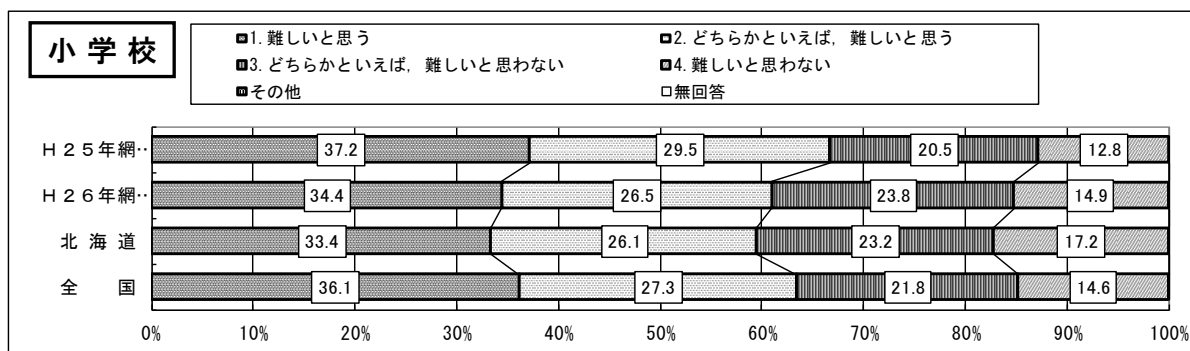
《昨年度と比較し、小学校で5.4ポイント少なく、中学校で5.1ポイント少ない。》



○「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。」

「1、難しいと思う」、「2、どちらかといえば難しいと思う」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で2.5ポイント少なく、中学校で1.1ポイント多い。

《昨年度と比較し、小学校で5.8ポイント少なく、中学校で3.2ポイント少ない。》

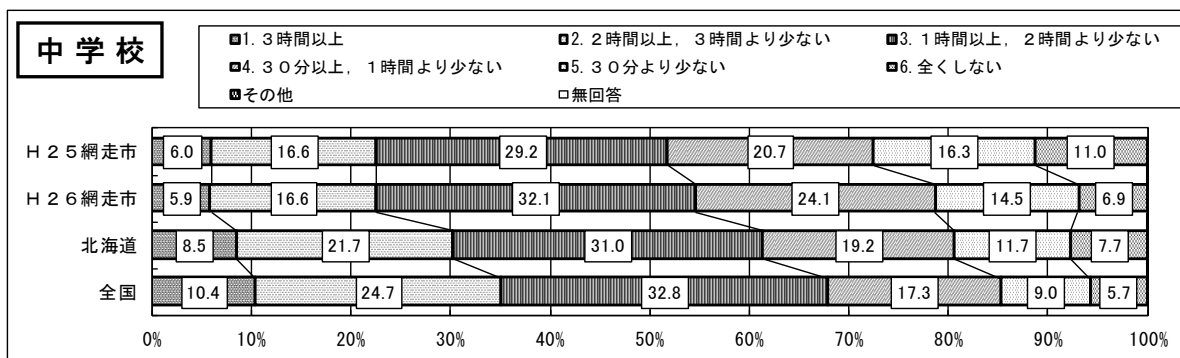
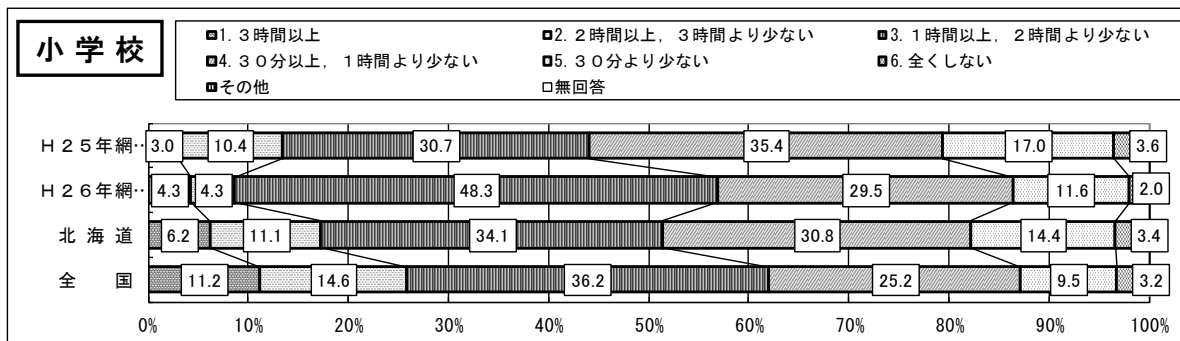


（３）《家庭での学習習慣》

○「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）。」

「１時間以上している」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**5.1ポイント低く**、中学校で**13.3ポイント低い**。

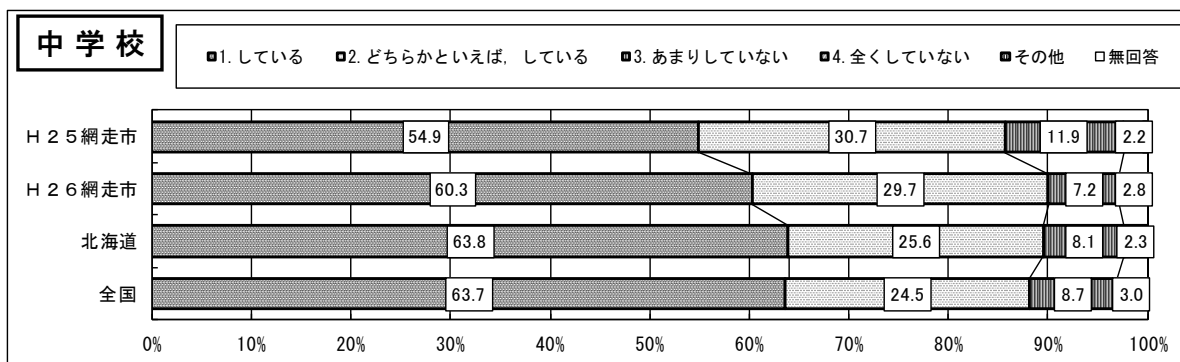
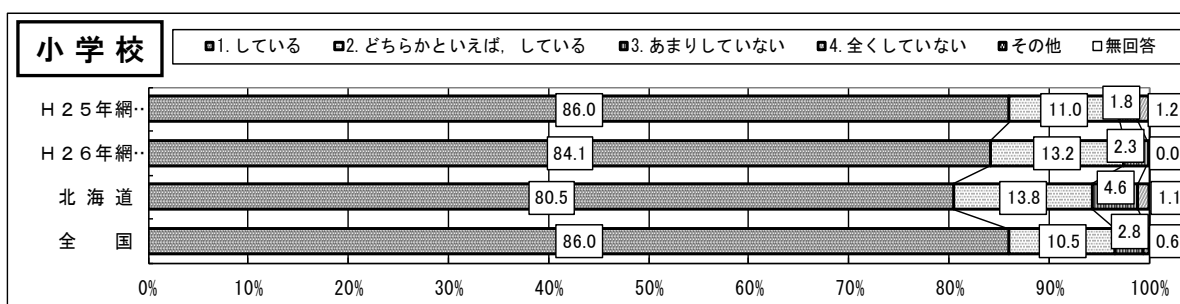
《昨年度と比較し、小学校で**12.8ポイント高く**、中学校で**2.8ポイント高い**。》



○「家で、学校の宿題をしていますか。」

「1. している」、「2. どちらかといえば、している」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**1.1ポイント高く**、中学校で**1.8ポイント高い**。

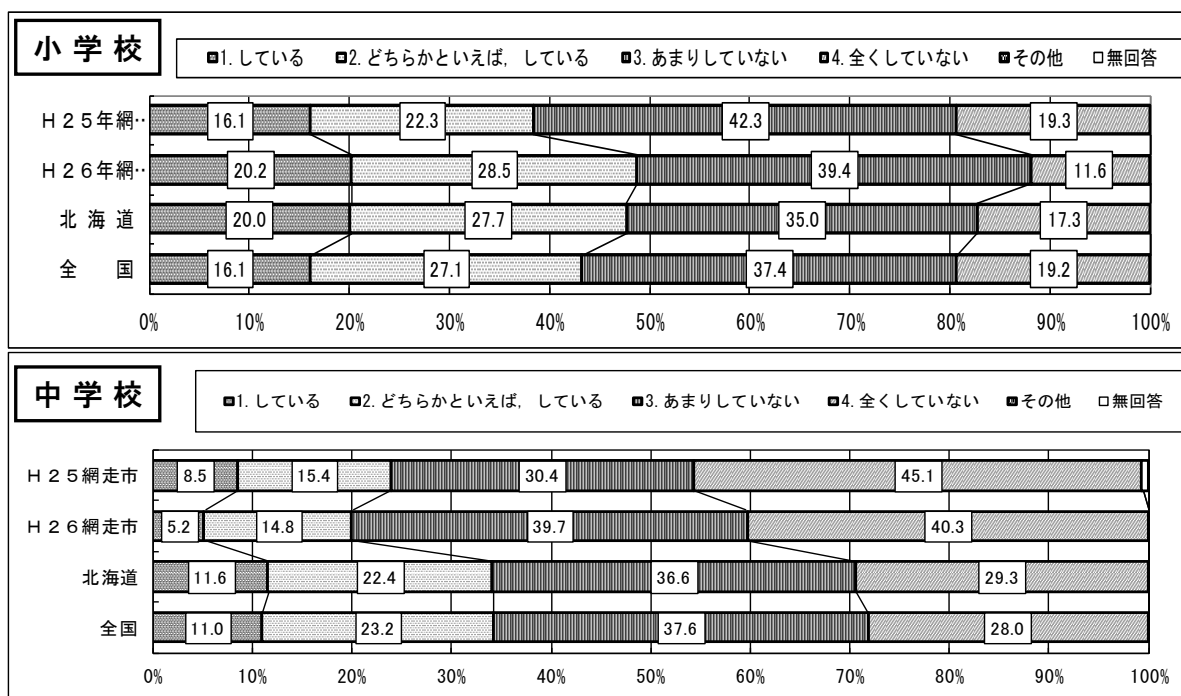
《昨年度と比較し、小学校で**0.3ポイント高く**、中学校で**4.4ポイント高い**。》



○「家で学校の授業の予習をしていますか。」

「1. している」、「2. どちらかといえば、している」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**1. 6ポイント**高く、中学校で**14. 2ポイント**低い。

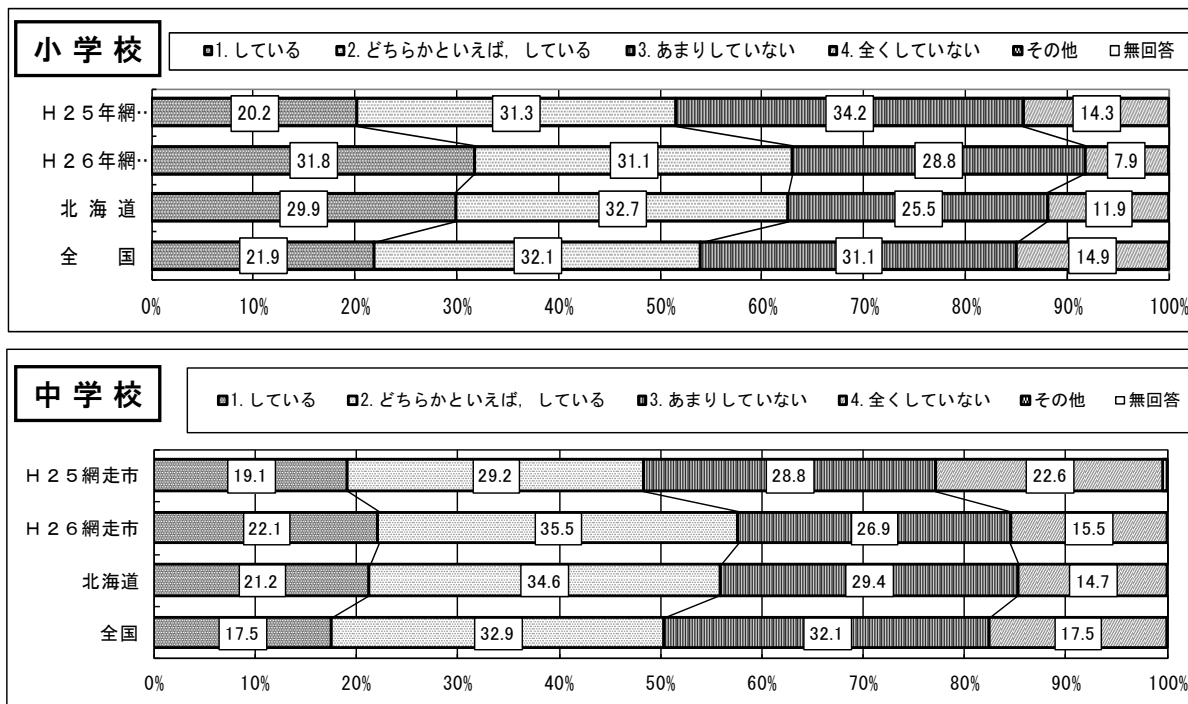
《昨年度と比較し、小学校で**10. 3ポイント**高く、中学校で**3. 9ポイント**低い。》



○「家で学校の授業の復習をしていますか。」

「1. している」、「2. どちらかといえば、している」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**8. 9ポイント**高く、中学校で**7. 2ポイント**高い。

《昨年度と比較し、小学校で**11. 4ポイント**高く、中学校で**9. 3ポイント**高い。》

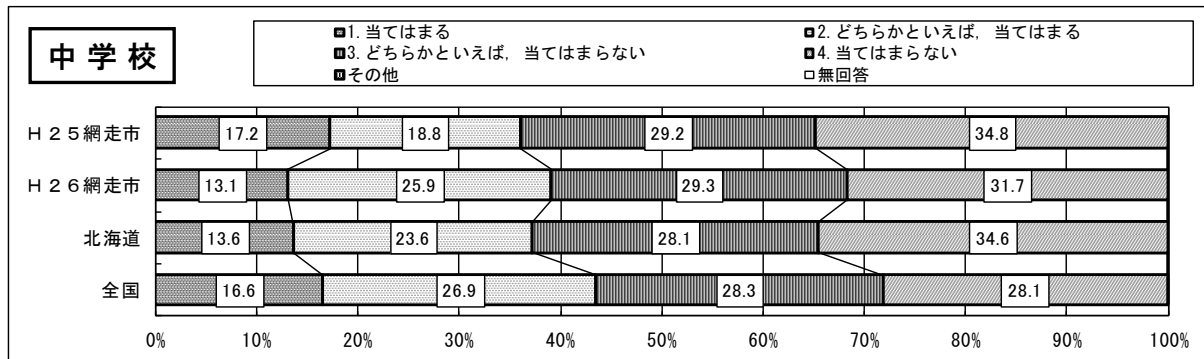
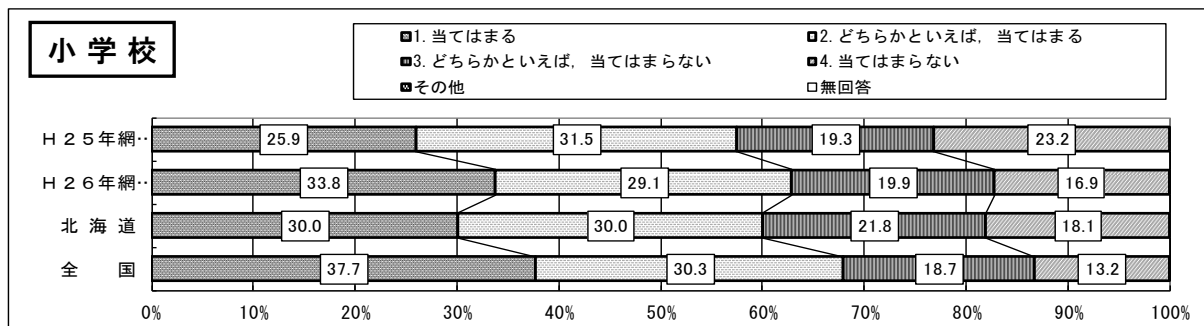


(4) 《社会に対する興味関心》

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**5.1ポイント低く**、中学校で**4.5ポイント低い**。

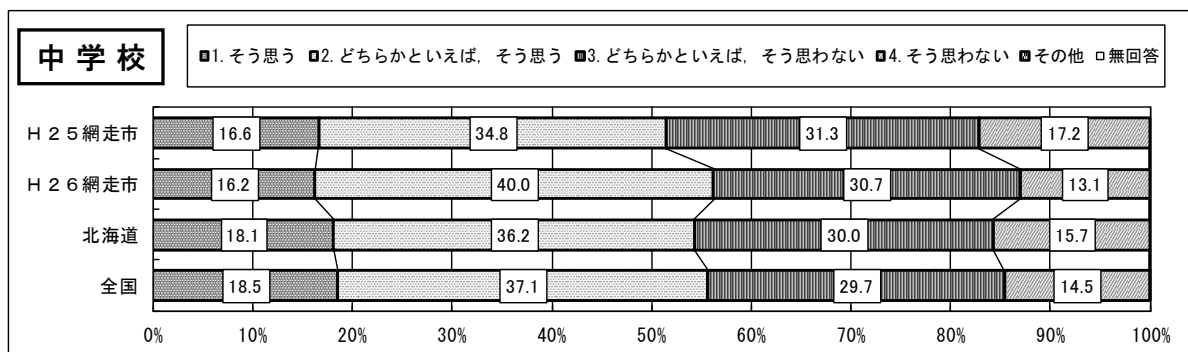
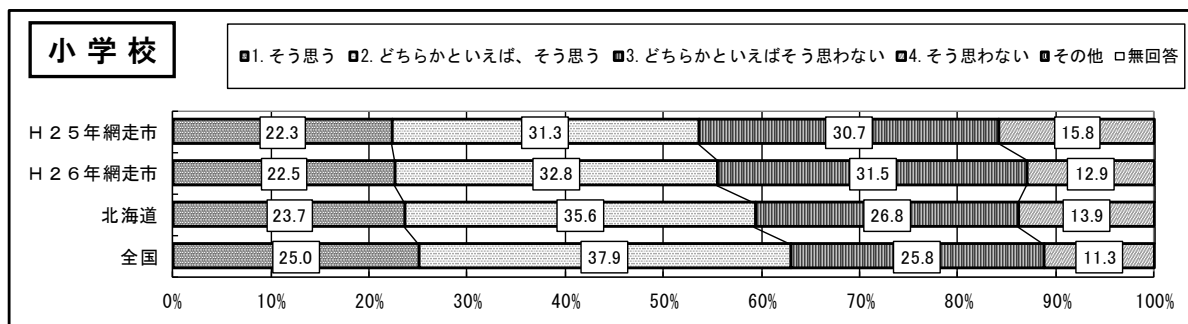
《昨年度と比較し、小学校で**5.5ポイント高く**、中学校で**3.0ポイント高い**。》



○「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」

「1、そう思う」、「2、どちらかといえばそう思う」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**7.6ポイント低く**、中学校で**0.6ポイント高い**。

《全国と比較し、小学校で**1.7ポイント高く**、中学校で**4.8ポイント高い**。》

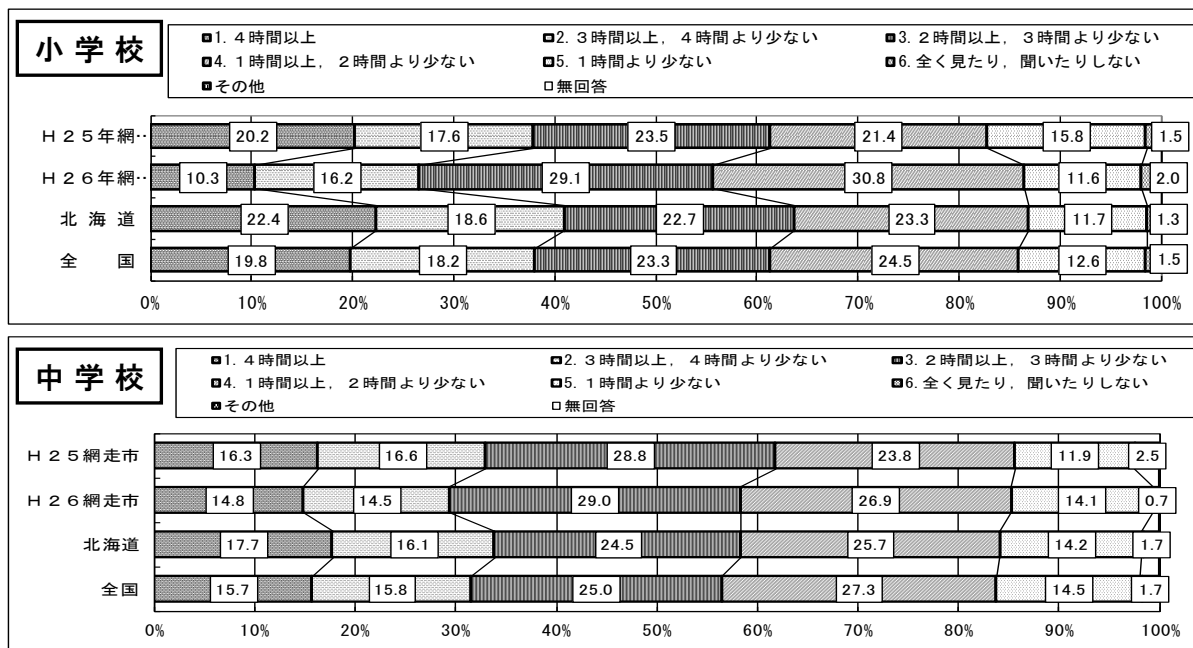


（５）《家庭での生活習慣》

○「普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか（テレビゲーム除く）」

「１日当たり３時間以上見たり聞いたりしている」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**11.5ポイント**少なく、中学校で**2.2ポイント**少ない。

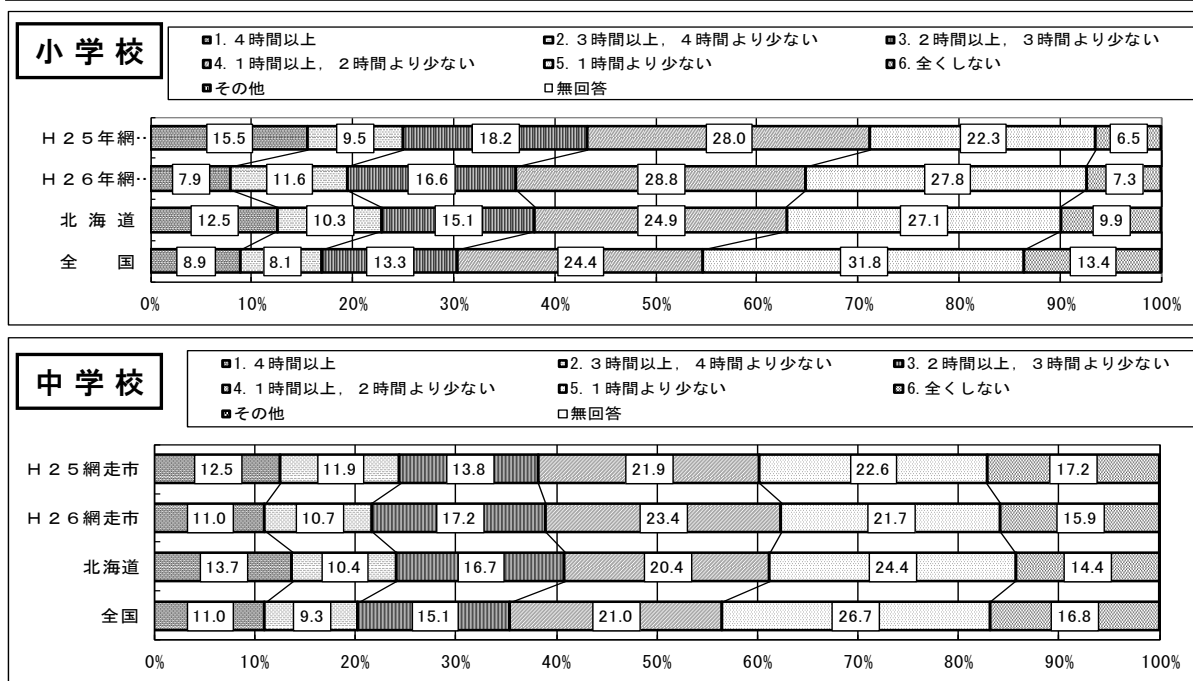
《昨年度と比較し、小学校で**11.3ポイント**少なく、中学校で**3.6ポイント**少ない。》



○「普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）をしますか。」

「１日当たり１時間以上する」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**10.2ポイント**多く、中学校で**5.9ポイント**多い。

《昨年度と比較し、小学校で**6.3ポイント**少なく、中学校で**2.2ポイント**多い。》

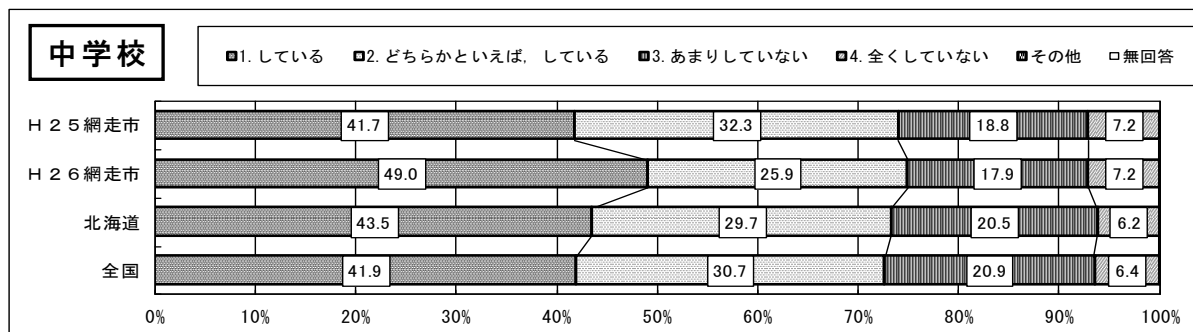
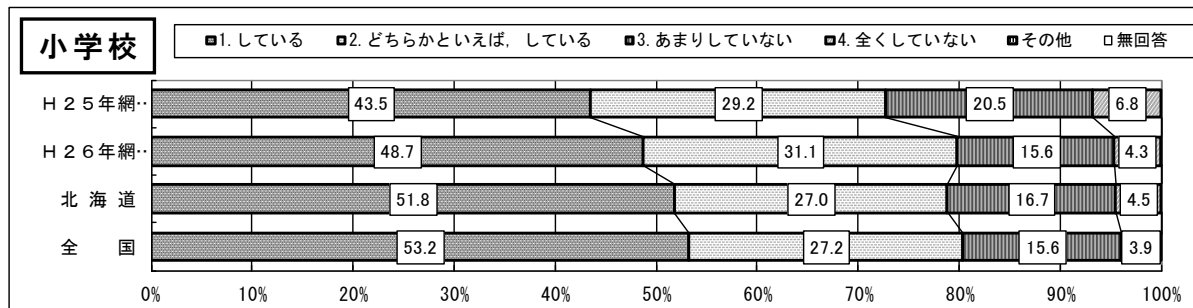


（６）《家庭でのコミュニケーション》

○「家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしていますか。」

「1. している」、「2. どちらかといえばしている」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で0.6ポイント少なく、中学校で2.3ポイント多い。

《昨年度と比較し、小学校で7.1ポイント多く、中学校で0.9ポイント多い。》

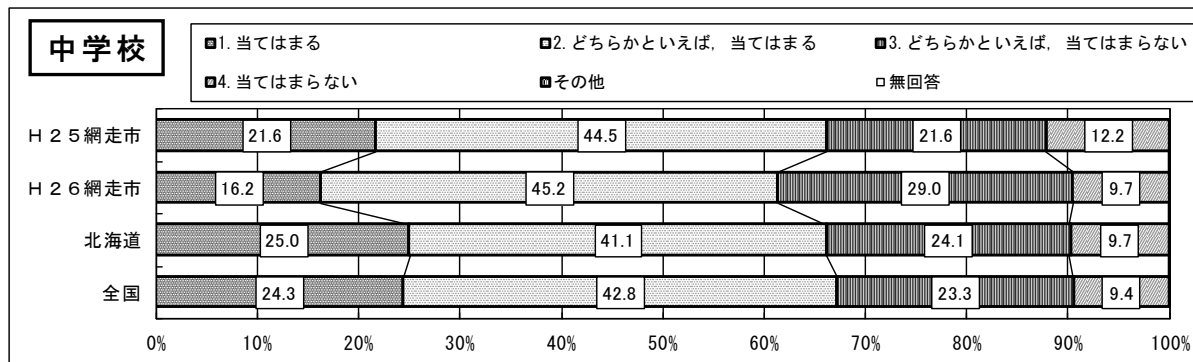
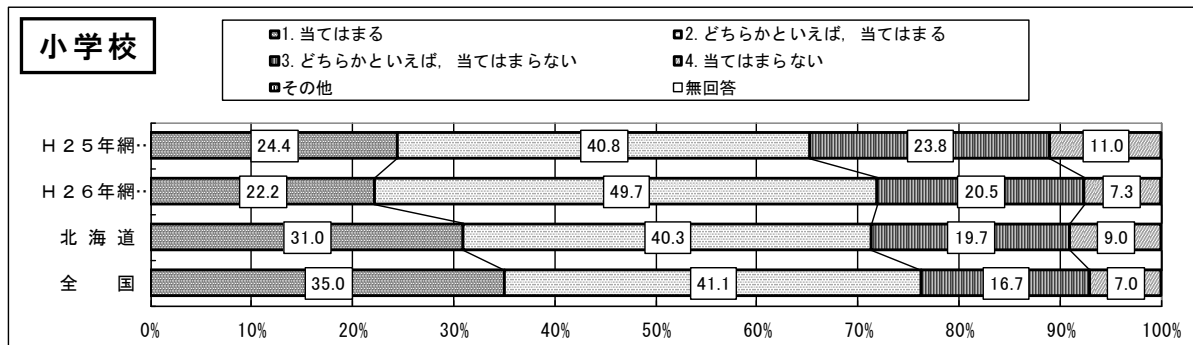


（７）《自尊感情・規範意識》

○「自分にはよいところがあると思いますか。」

「1. 当てはまる」、「2. どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で4.2ポイント少なく、中学校で5.7ポイント少ない。

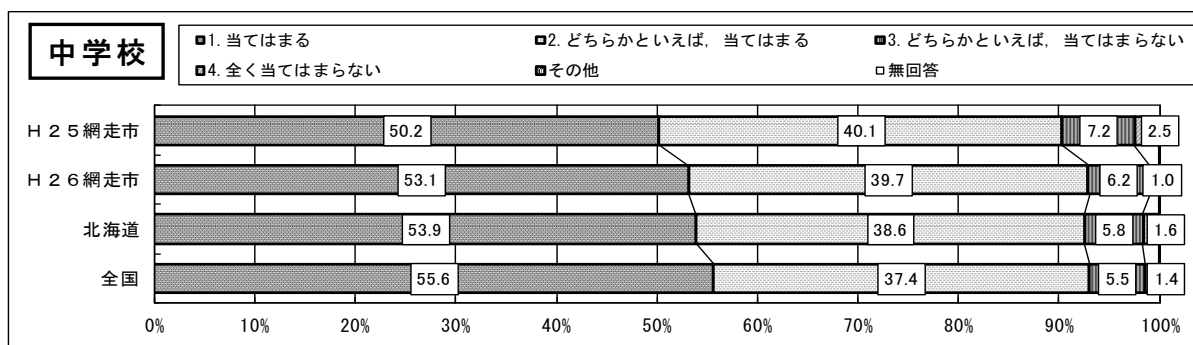
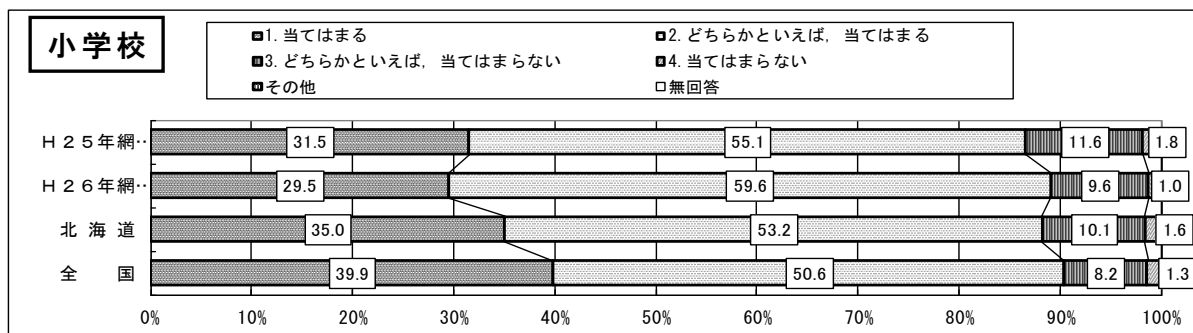
《昨年度と比較し、小学校で6.7ポイント多く、中学校で4.7ポイント少ない。》



○「学校のきまり（規則）を守っていますか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**1.4ポイント**少なく、中学校で**0.2ポイント**多い。

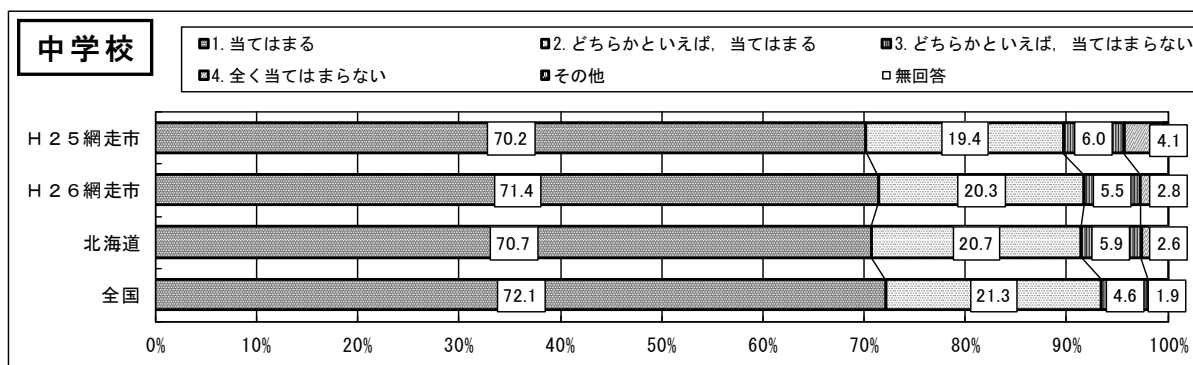
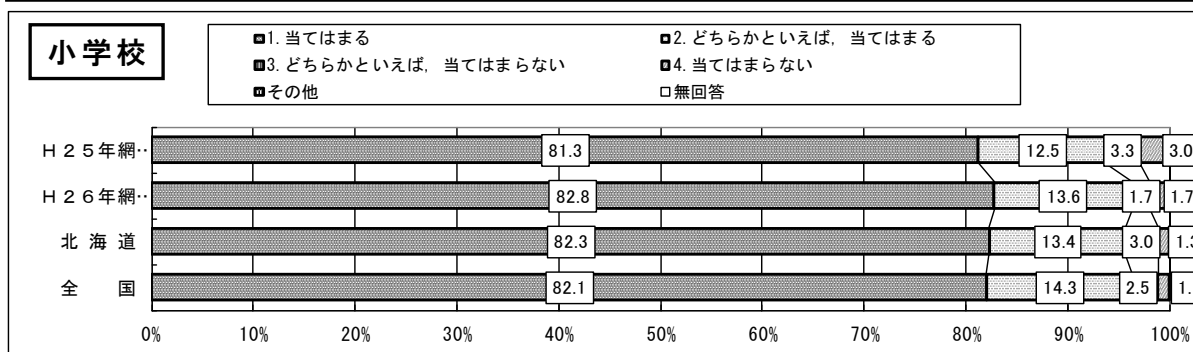
《昨年度と比較し、小学校で**2.5ポイント**多く、中学校で**2.5ポイント**多い。》



○「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校は全国と差はなく、中学校で**1.7ポイント**低い。

《昨年度と比較し、小学校で**2.6ポイント**高く、中学校で**2.1ポイント**高い。》

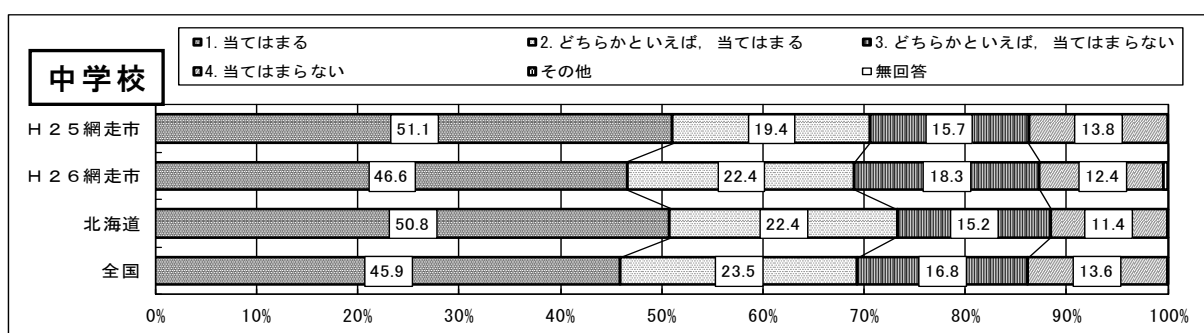
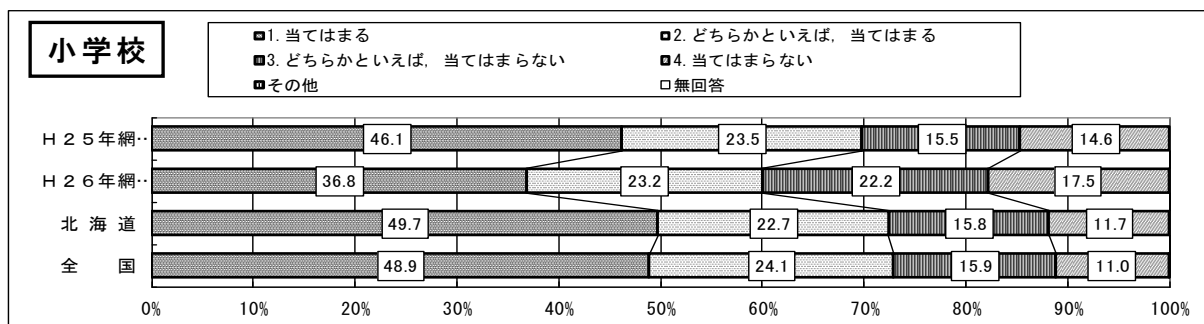


（８）《読書》

○「読書が好きですか。」

「1、当てはまる」、「2、どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**13.0ポイント低く**、中学校で**0.4ポイント低い**。

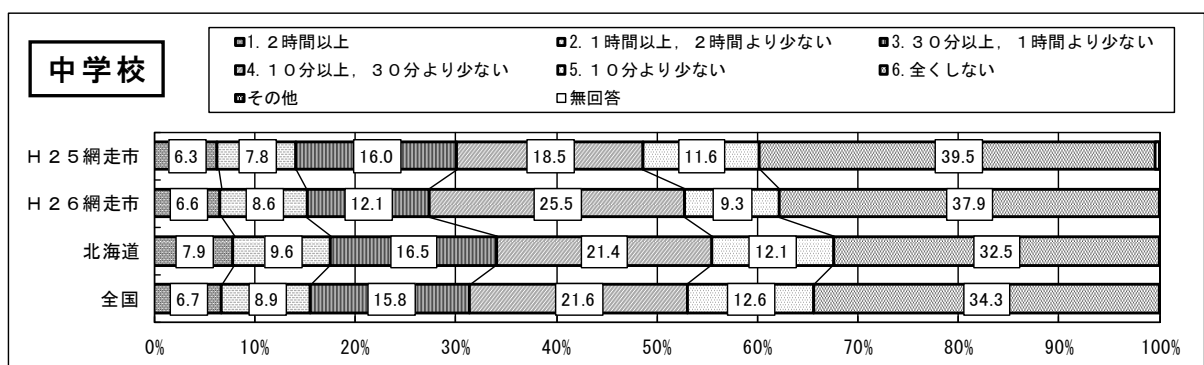
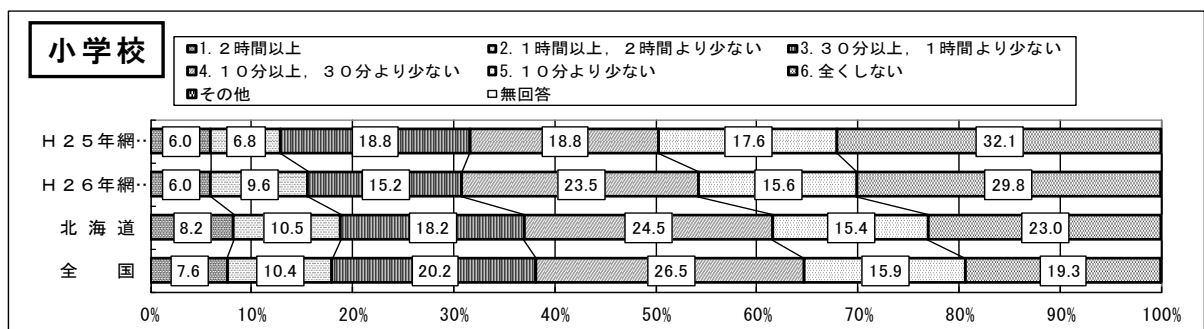
《昨年度と比較し、小学校で**9.6ポイント低く**、中学校で**1.5ポイント低い**。》



○「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）。」

「30分以上読書をする」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較し、小学校で**7.4ポイント少ない**、中学校で**4.1ポイント低い**。

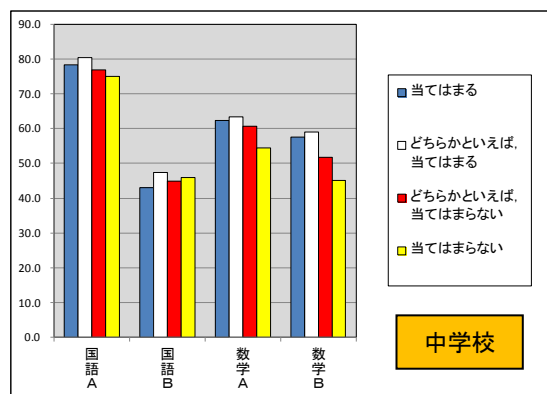
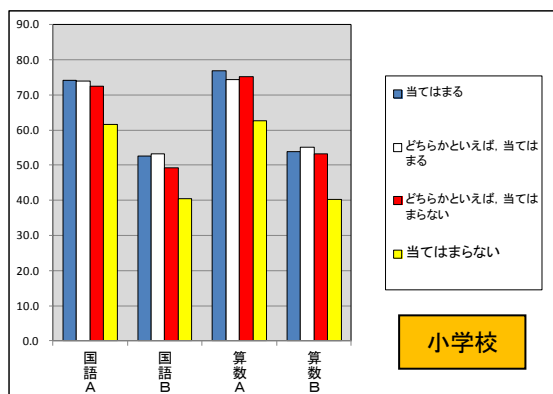
《昨年度と比較し、小学校で**0.8ポイント少なく**、中学校で**2.8ポイント少ない**。》



5. 質問紙調査と平均正答率の相関

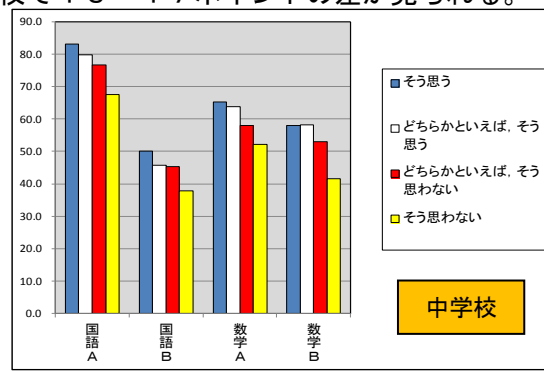
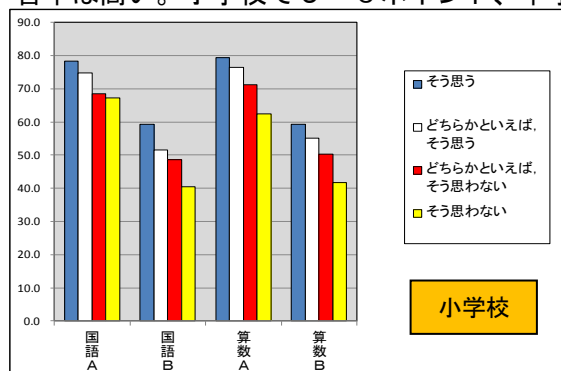
(1) 「自分にはよいところがあると思いますか。」と正答率の相関

小学校では、「当てはまる」と回答している児童の方が、「当てはまらない」回答した児童に比べ正答率が高い。



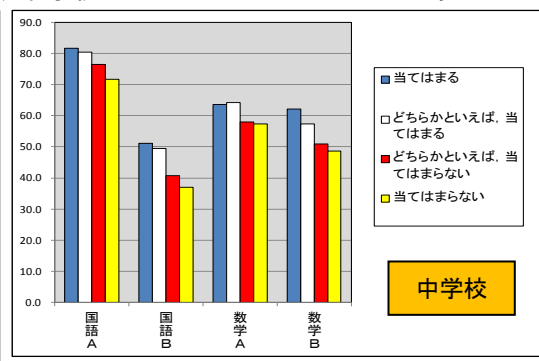
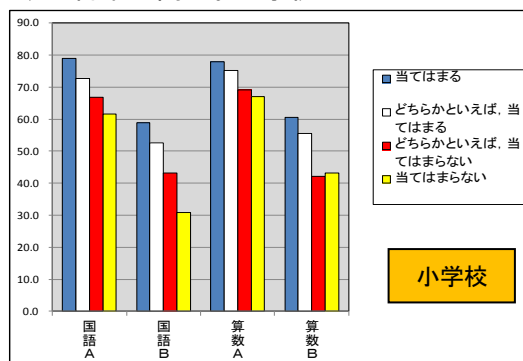
(2) 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」と正答率の相関

「そう思う」と回答した児童生徒の方が、「そう思わない」と回答した児童生徒に比べ、正答率が高い。小学校で5～6ポイント、中学校で13～17ポイントの差が見られる。



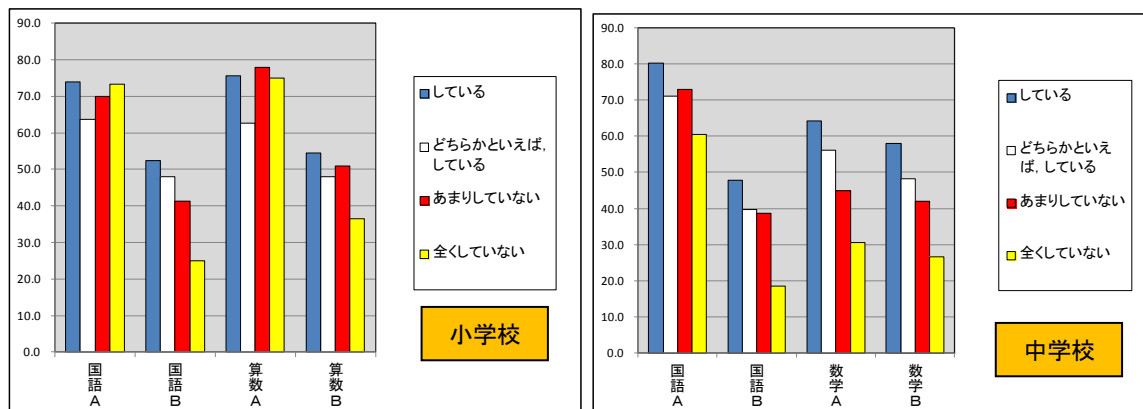
(3) 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」と正答率の相関

「当てはまる」と回答した児童生徒の方が、「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、正答率が高い。小学校で4～7ポイント、中学校で6～14ポイントの差が見られる。



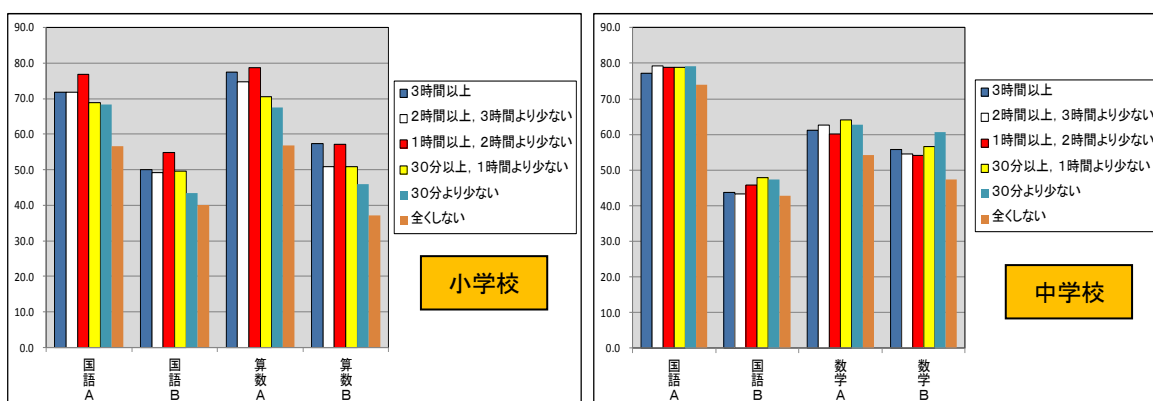
(4) 「朝食を毎日食べていますか。」と正答率の相関

「している」と回答した児童生徒の方が、「全くしていない」と回答した児童生徒に比べ、正答率が高い。特に中学校でその傾向見られる。小学校で1～27ポイント、中学校では、20～34ポイントの差が見られる。



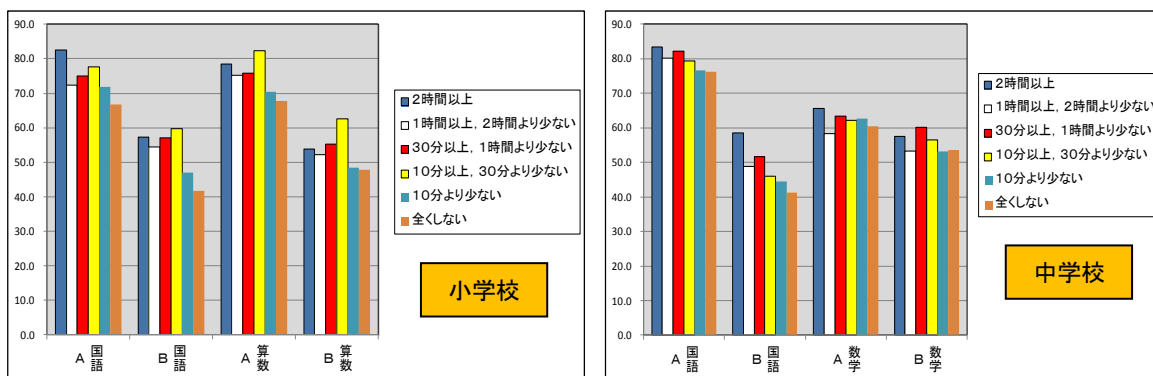
(5) 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強する」と正答率の相関

「1時間以上勉強する」とした児童生徒は、「全くしない」とした児童生徒に比べ、正答率が高い。小学校で15～21ポイント、中学校で6～14ポイントの差が見られる。



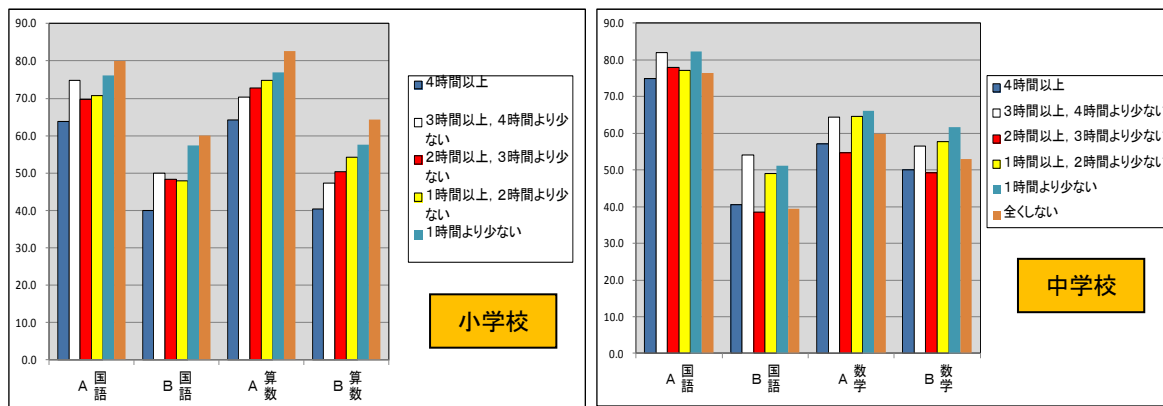
(6) 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり30分以上読書をする」と正答率の相関

「30分以上読書をする」とした児童生徒は、「全くしない」とした児童生徒に比べ、すべての教科で正答率が高い。小学校で4～7ポイント、中学校で6～14ポイントの差が見られる。



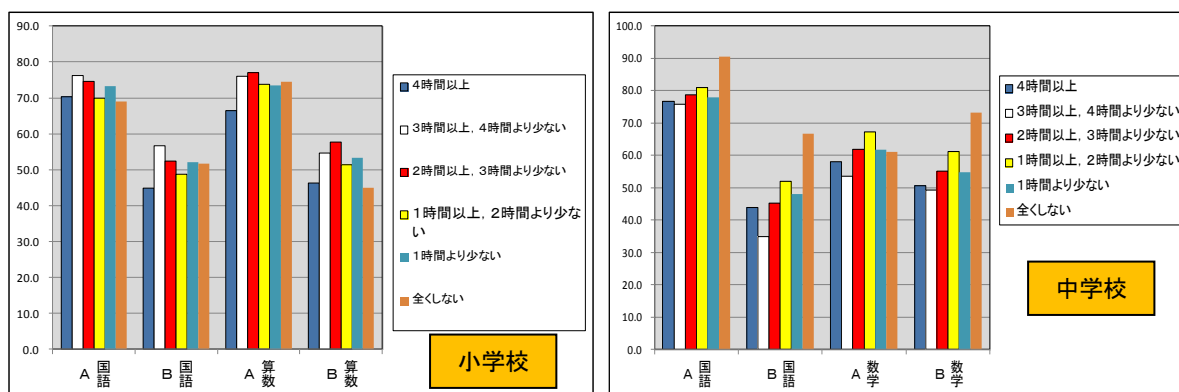
(7)「普段、1日当たりテレビゲームを1時間以上する」と正答率の相関

「全くしない」「1時間より少ない」とした児童生徒に比べ、小学校、中学校とも正答率は低い。特に小学校で、その傾向が顕著に見られ、9～13ポイントの差が見られる。



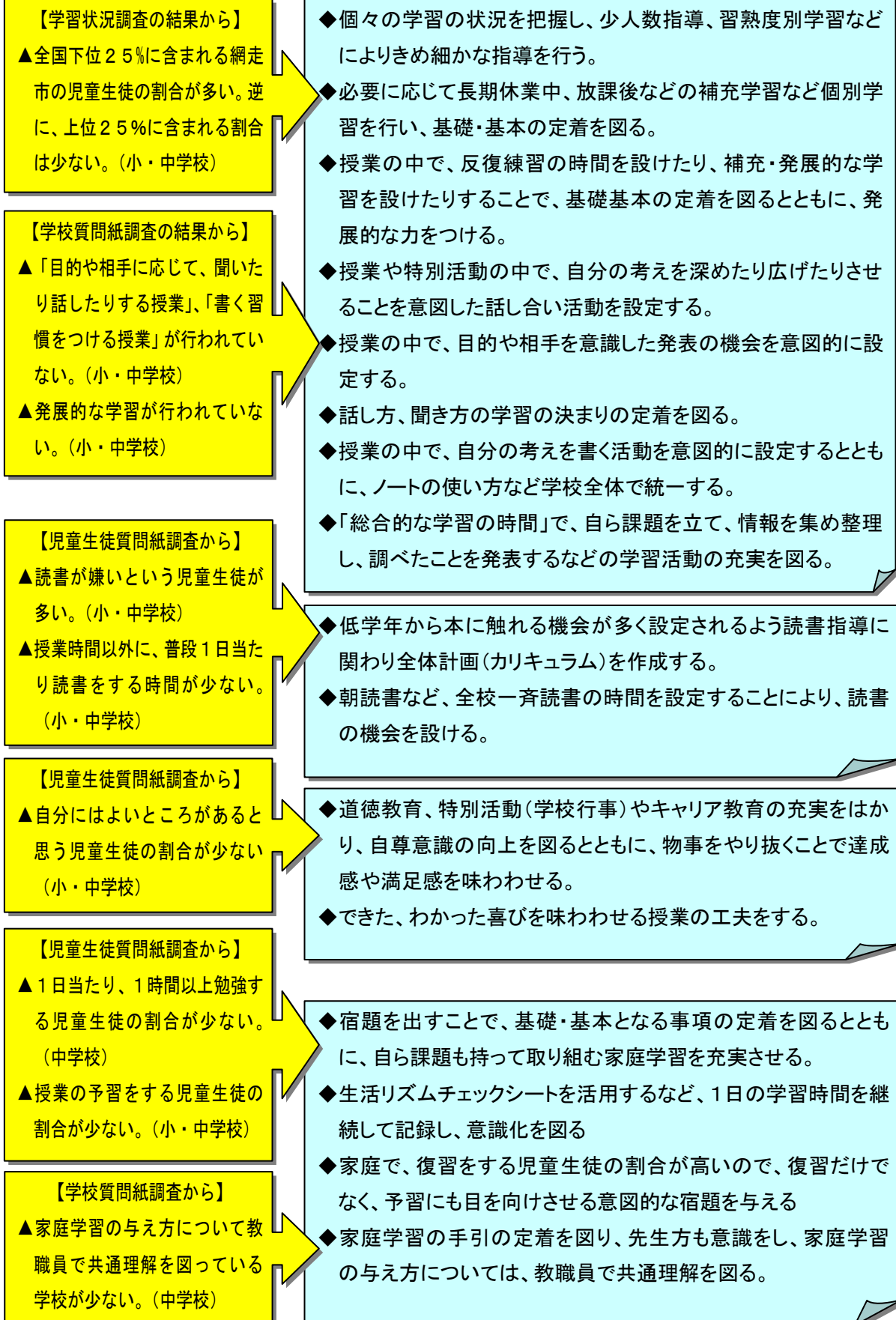
(8)「普段、1日当たり、4時間以上テレビやビデオ・DVDを見る、聞く」と正答率の相関

「全くしない」「1時間より少ない」とした児童生徒に比べ、小学校、中学校とも正答率は低い。特に中学校でその傾向が顕著であり、8～23ポイントの差が見られる。



6. 調査での課題と改善のポイント

1 学校での取組【▲調査の中での課題 ◆改善のポイント】



2 家庭での取組

【児童生徒質問紙調査から】

- ▲1日当たり、1時間以上勉強する児童生徒の割合が少ない。
(中学校)
- ▲1日当たり、1時間以上ゲームをする児童生徒の割合が多い。
(小・中学校)
- ▲1日当たり、1時間以上テレビを見る児童生徒の割合が多い。
(小・中学校)
- ▲授業時間以外に、普段1日当たり読書をする時間が少ない。
(小・中学校)
- ▲地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒の割合が少ない(小学校)
- ▲自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合が少ない
(小・中学校)

①子どもの生活リズムを整えましょう

- 生活リズムチェックシートを活用し、子どもが自ら生活を記録する習慣化を図りましょう。
- 朝起きる時間、夜寝る時間が不規則にならないようにしましょう。朝ごはんは、しっかり食べてきましょう。(早寝早起き朝ごはん)

②家庭でのルールや目安を決め、しっかり守るよう子どもと約束をしましょう。

- 家庭学習は、1日【小学校】学年×10分、【中学校】学年×1時間を目標に取り組みましょう。
- テレビ、DVD、ビデオの視聴時間、テレビゲーム(携帯式ゲーム)の時間を少なくしましょう。
- 家庭で読書をする時間を設けましょう。
- 携帯電話(スマートフォン)、SNS、メール、インターネットなど、使用できる時間などきまりを設けましょう。

③家の中に、勉強ができる環境を作りましょう。

- 新聞やニュースを見る、地図や地球儀を身近に準備するなど、社会に興味を持たせるような準備をしましょう。

④学校での出来事について話を聞く時間を作りましょう。励ましやほめることを大切にしましょう。

⑤地域の行事へ参加させたり、図書館、社会教育施設を積極的に活用させたり、網走のよさにふれる時間をつくりましょう。

■ 調査を開始した平成19年と比較し、次のような改善が見られます ■

◎1日当たり1時間以上学習する児童が増えた。(小学校)

H19 小学校39.1 → H26 小学校56.9

◎家で学校の宿題をしている児童生徒が増えた。

H19 小学校91.4 中学校75.0 → H26 小学校97.3 中学校90.0

◎家の人と学校での出来事について話をしている家庭が増えた。(小学校、中学校)

H19 小学校68.5 中学校59.6 → H26 小学校79.7 中学校74.9

◎毎日朝食を食べてくる児童生徒が増えた。

H19 小学校94.4 中学校90.0 → H26 小学校97.0 中学校92.1

◎毎日同じくらいの時刻に寝ている児童生徒が増えた。

H19 小学校68.6 中学校62.9 → H26 小学校79.1 中学校70.0

◎自分にはよいところがあると思う児童生徒が増えた。

H19 小学校62.0 中学校60.0 → H26 小学校71.9 中学校61.4

◎人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒が増えた。

H19 小学校88.8 中学校88.8 → H26 小学校94.0 中学校94.4

3 網走市教育委員会における学力向上の方策

この方策は、これまで網走市教育委員会が取り組んできたものをさらに推進・拡充させていくものと、新たに取り組むものです。また、下線部は、取組の重点項目です。

1 教職員の高い指導力を備えるための研究・研修の充実を図ります。

- (1) 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、先進地視察研修、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進を図ります。
- (2) 市内すべての学校で公開研究会を実施するとともに網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援します。
- (3) 教職員の授業力向上のため、北海道教育庁指導主事の学校教育指導を複数回要請し、特設授業や研究協議の充実を図ります。
- (4) 「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校、近隣実践校の取組を支援し、教職員の資質の向上を図ります。

2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります。

- (1) 学ぶ意欲を高めるタブレット型端末や子どもにより分かりやすく伝える実物投影機など、I C T機器活用をより一層促進します。
- (2) 学校図書司書の複数配置や学校図書の整備など、図書館機能の充実を図ります。

3 子どもたちに自ら学ぶ意欲をはぐくみ、確かな学力の定着を図ります。

- (1) 子どもたちに基礎的・基本的な確かな学力の定着を図るため、長期休業中や放課後の補充学習の充実、少人数指導や習熟度別学習など、きめ細かな学習の推進を図ります。
- (2) 子どもたち一人一人の理解を深めるため、学力状況を把握する標準学力検査や、学校での適応感を把握するQ-U検査の実施を支援します。
- (3) 「網走市学力向上フォーラム」の開催や先進地視察、「網走市家庭学習の手引」作成など、学力向上推進委員会活動を支援します。
- (4) 家庭での学習習慣確立のために、学校・家庭・地域が連携し、家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、新たに「網走市生活リズムチェックシート」の積極的な活用を図ります。

4 学力の基礎となる体力向上を図ります。

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の取組を推進します。
- (2) スポーツ合宿団体によるラグビー教室などのスポーツ教室の開催や教育長杯ラグビー大会、27年度から開催される網走マラソン大会などへの参加促進を図ります。

5 特別支援教育の充実を図ります。

- (1) 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携を図ります。
- (2) 教職員や保護者の特別支援に対する理解を深めるため、研修会の実施、教育相談体制の充実を図ります。

6 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育みます。

- (1) 道徳教育公開研究会実施校への助成や道徳教育研修会、教育講演会の開催など道徳教育の充実を図ります。
- (2) 地域に対する愛着や関心を高めるために、地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実を図ります。
- (3) 家読（うちどく）を推進するために、新たに市立図書館による「読書ノート」の実施や「網走市読書感想文コンクール」を実施します。

7 地域、保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを目指します。

- (1) 地域、保護者に開かれた学校を目指し、「オープンスクール」の実施や「網走市学校支援地域本部事業」によるボランティアの活用、学校ホームページの作成など、地域、保護者との連携を図ります。
- (2) 健やかな子どもを育成するために、網走市PTA連合会と連携し、講演会、研修会を開催します。